

参考資料

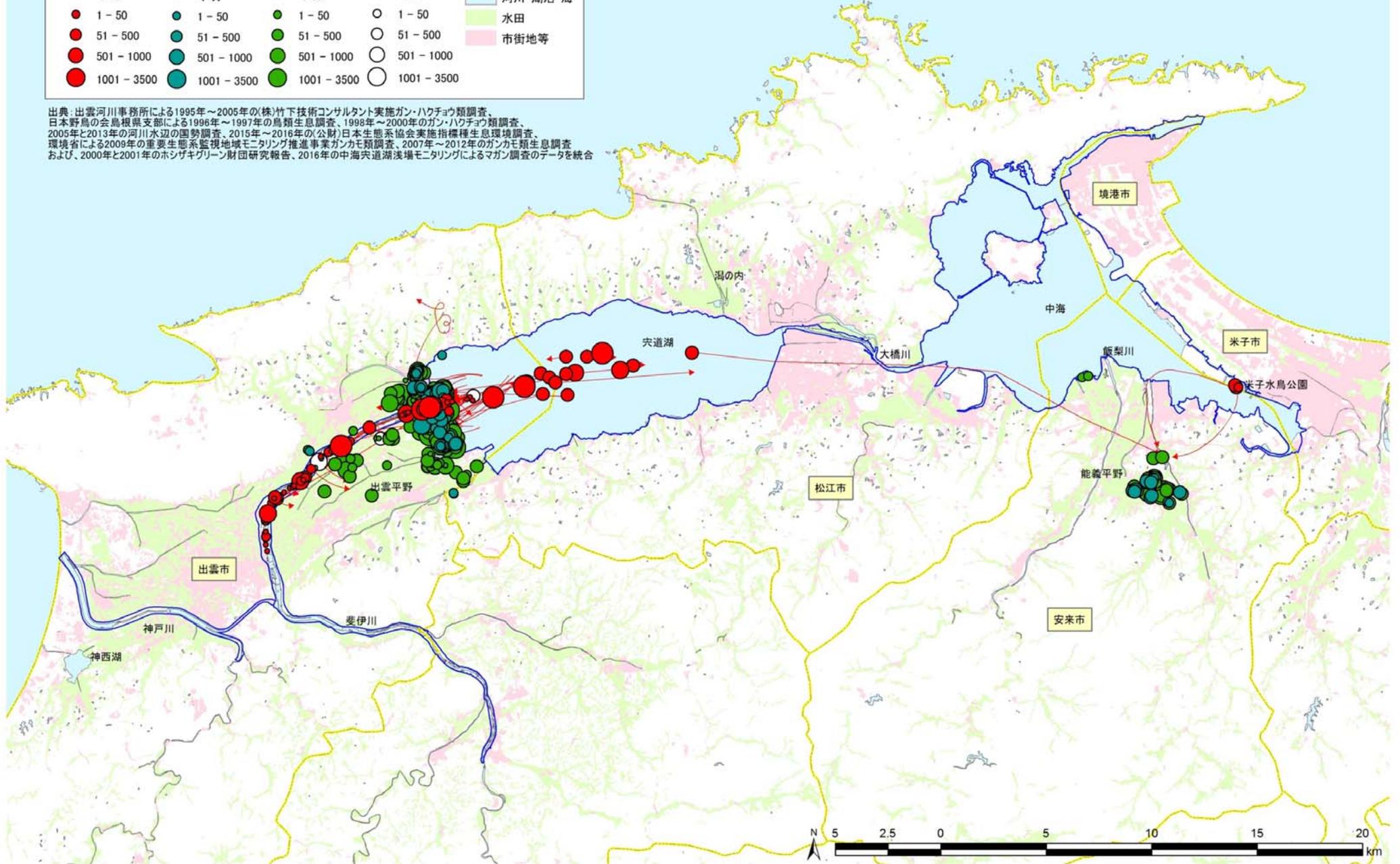
目次

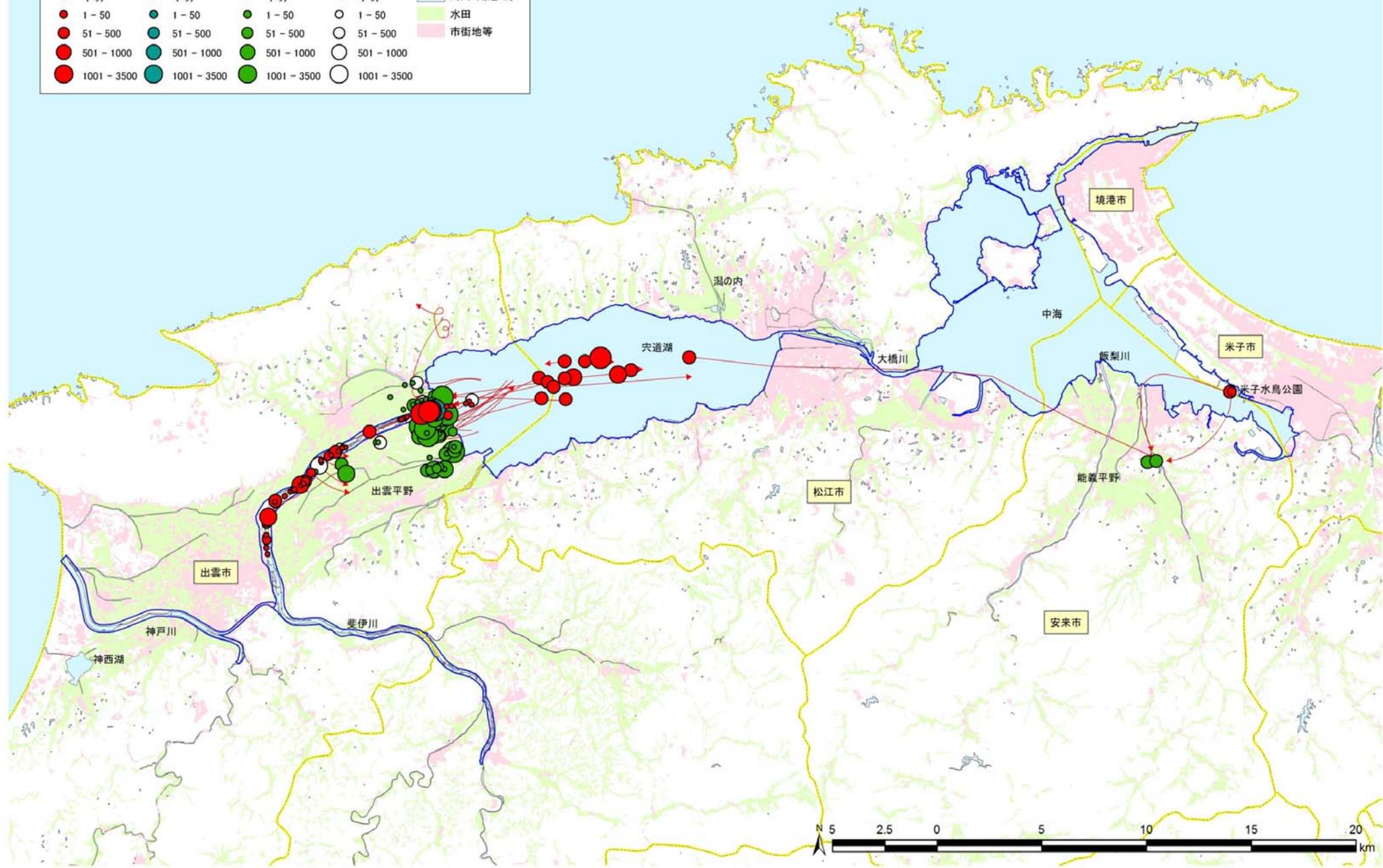
指標大型水鳥類の近年の生息確認状況	1
• マガン	1
• ヒシクイ	12
• コハクチョウ	23
• オオハクチョウ	34
• ナベヅル・マナヅル	45
• コウノトリ	46
斐伊川流域(斐伊川・宍道湖・中海)におけるガン・ハクチョウ類の既存調査資料一覧	47
斐伊川流域生態系ネットワークにおける「大型水鳥類」を指標とした生息環境整備の概要	48
斐伊川 水系生態系ネットワーク形成事業 指標となる『大型水鳥類』に関する生息環境の保全・整備方針	49

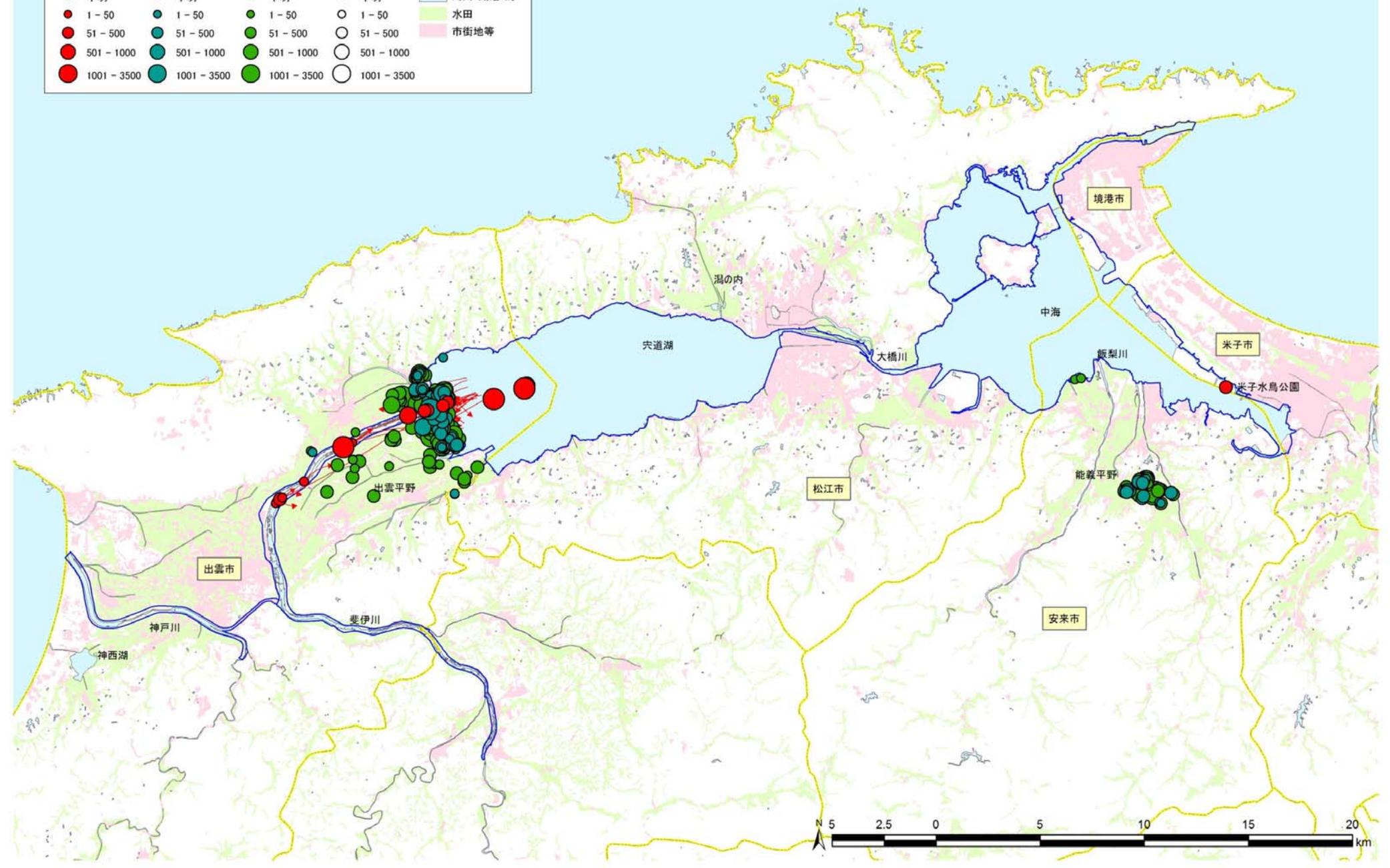
マガン



出典：出雲河川事務所による1995年～2005年の(株)竹下技術コンサルタント実施ガン・ハクチョウ類調査、
 日本野鳥の会鳥視県支部による1996年～1997年の鳥類生息調査、1998年～2000年のガン・ハクチョウ類調査、
 2005年と2013年の河川水辺の国勢調査、2015年～2016年の(公財)日本生態協会実施指標種生息環境調査、
 環境省による2009年の重要生態系監視地域モニタリング推進事業ガンカモ類調査、2007年～2012年のガンカモ類生息調査
 および、2000年と2001年のホシザキグリーン財団研究報告、2016年の中海宍道湖浅場モニタリングによるマガン調査のデータを統合







ねぐら

- 確認羽数
- 不明
 - 1 - 50
 - 51 - 500
 - 501 - 1000
 - 1001 - 3500

休息地

- 確認羽数
- 不明
 - 1 - 50
 - 51 - 500
 - 501 - 1000
 - 1001 - 3500

採食地

- 確認羽数
- 不明
 - 1 - 50
 - 51 - 500
 - 501 - 1000
 - 1001 - 3500

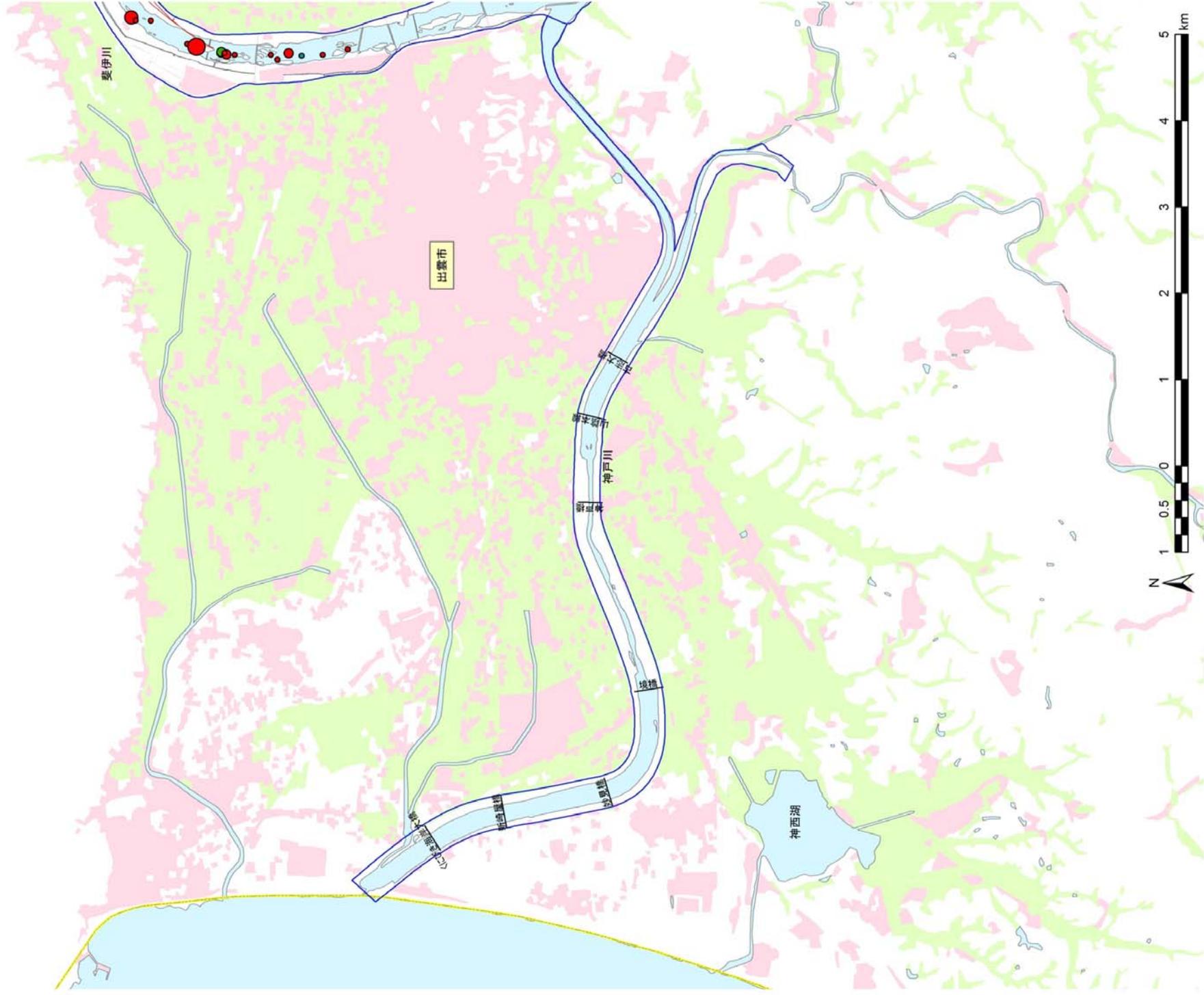
不明

- 確認羽数
- 不明
 - 1 - 50
 - 51 - 500
 - 501 - 1000
 - 1001 - 3500

飛行経路

- 連続河川区域
- 河川・湖沼・海
- 水田
- 市街地等

出雲平野西部
平成6年度～平成15年度



ねぐら

- 確認羽数
- 不明
 - 1 - 50
 - 51 - 500
 - 501 - 1000
 - 1001 - 3500

休息地

- 確認羽数
- 不明
 - 1 - 50
 - 51 - 500
 - 501 - 1000
 - 1001 - 3500

採食地

- 確認羽数
- 不明
 - 1 - 50
 - 51 - 500
 - 501 - 1000
 - 1001 - 3500

不明

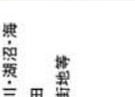
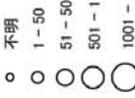
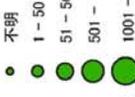
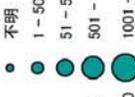
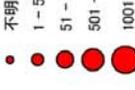
- 確認羽数
- 不明
 - 1 - 50
 - 51 - 500
 - 501 - 1000
 - 1001 - 3500

飛行経路

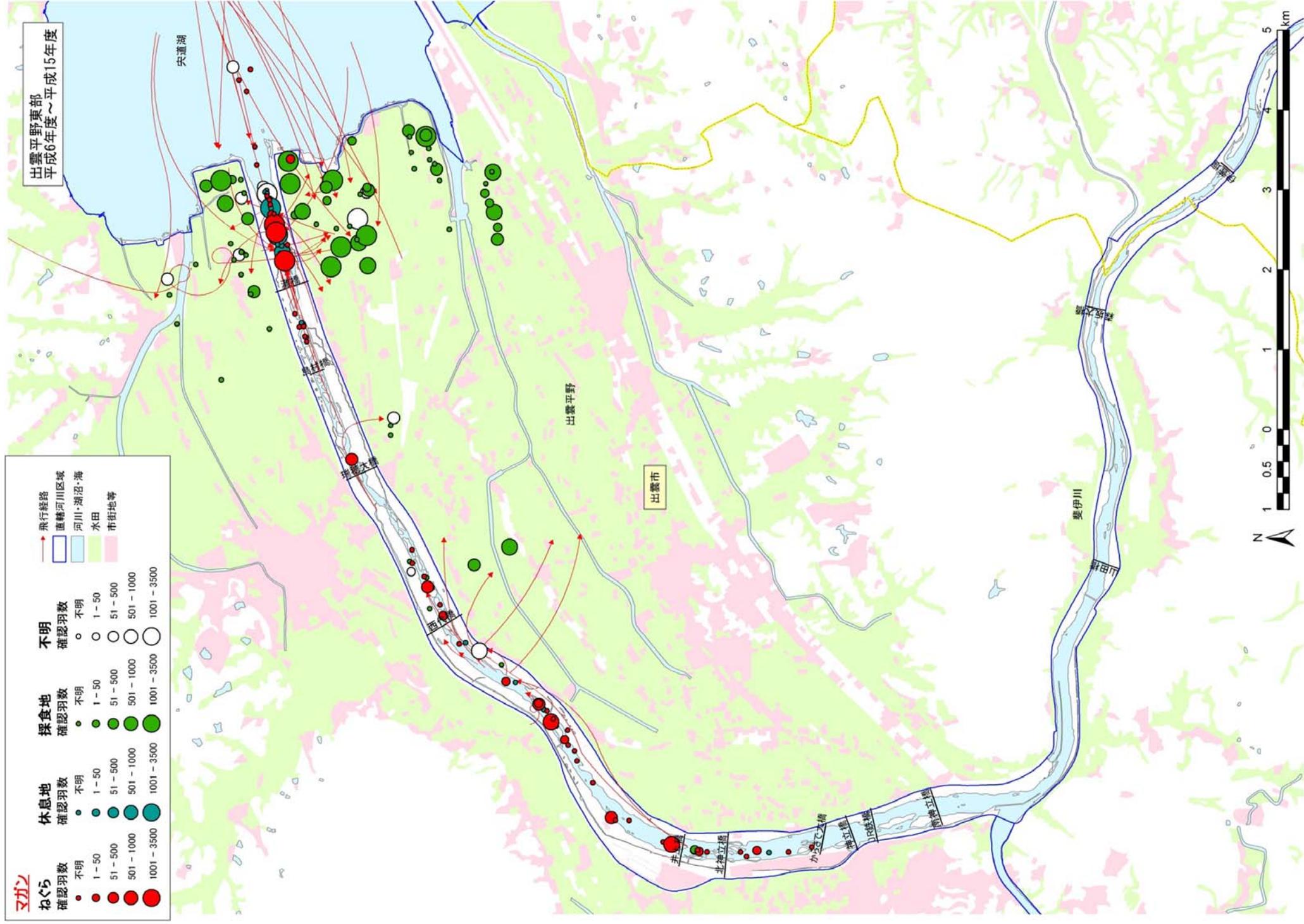
- 直轄河川区域
- 河川・湖沼・海
- 水田
- 市街地等

出雲平野西部
平成16年度～平成27年度





出雲平野東部
平成6年度～平成15年度



出雲平野東部
平成16年度～平成27年度

宍道湖

出雲平野

出雲市

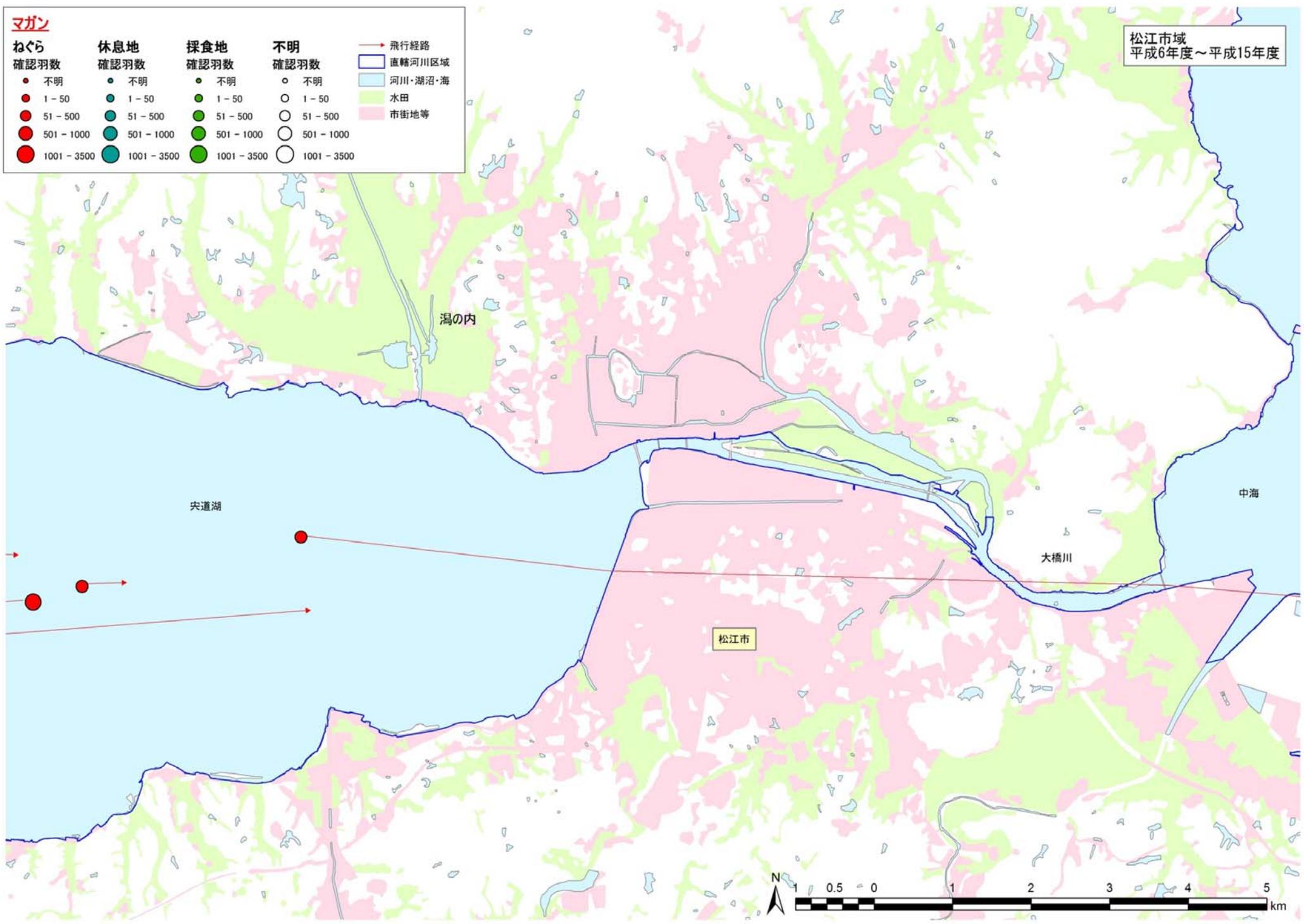
斐伊川



マガン



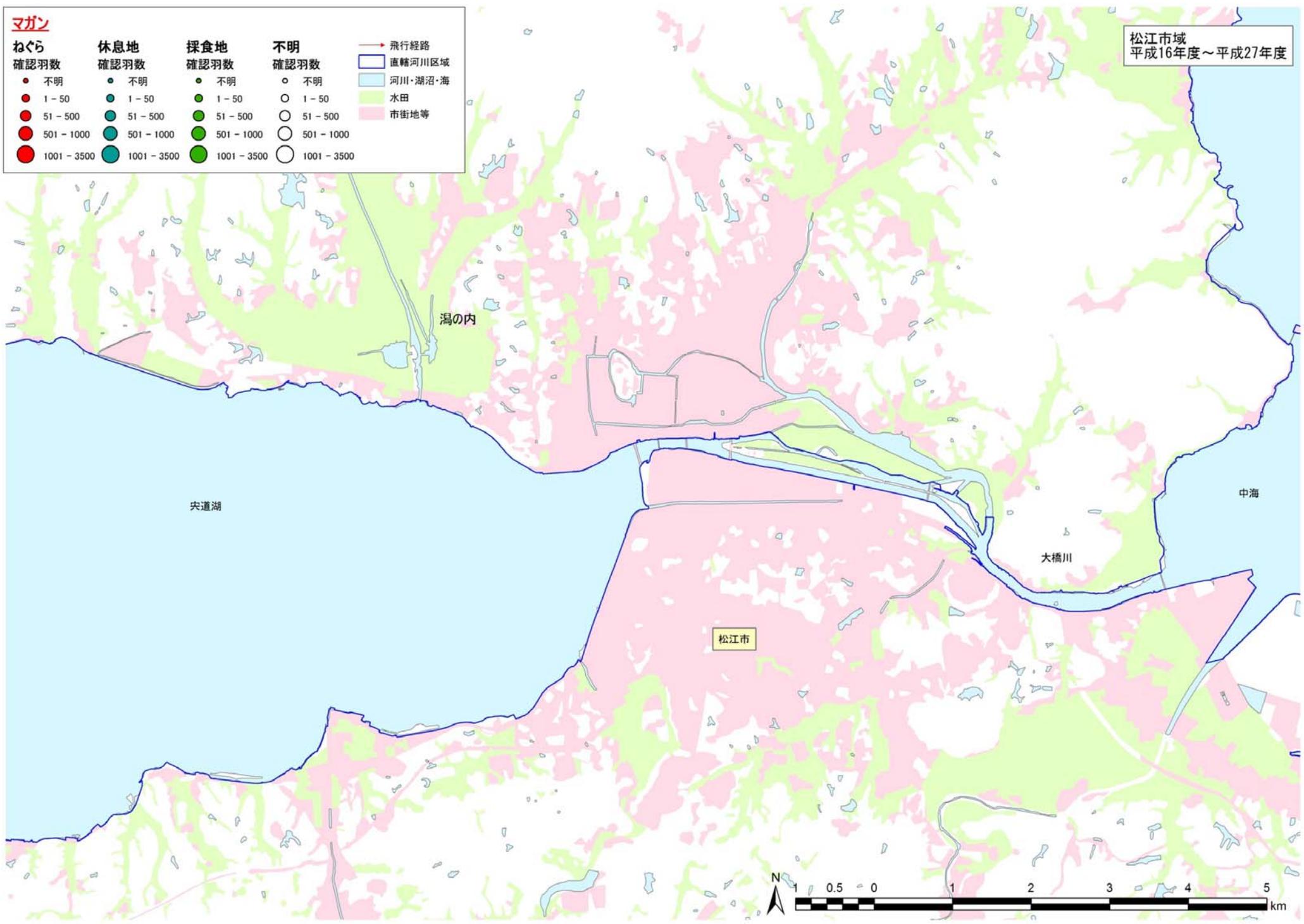
松江市域
平成6年度～平成15年度

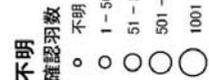
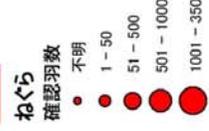


マガン

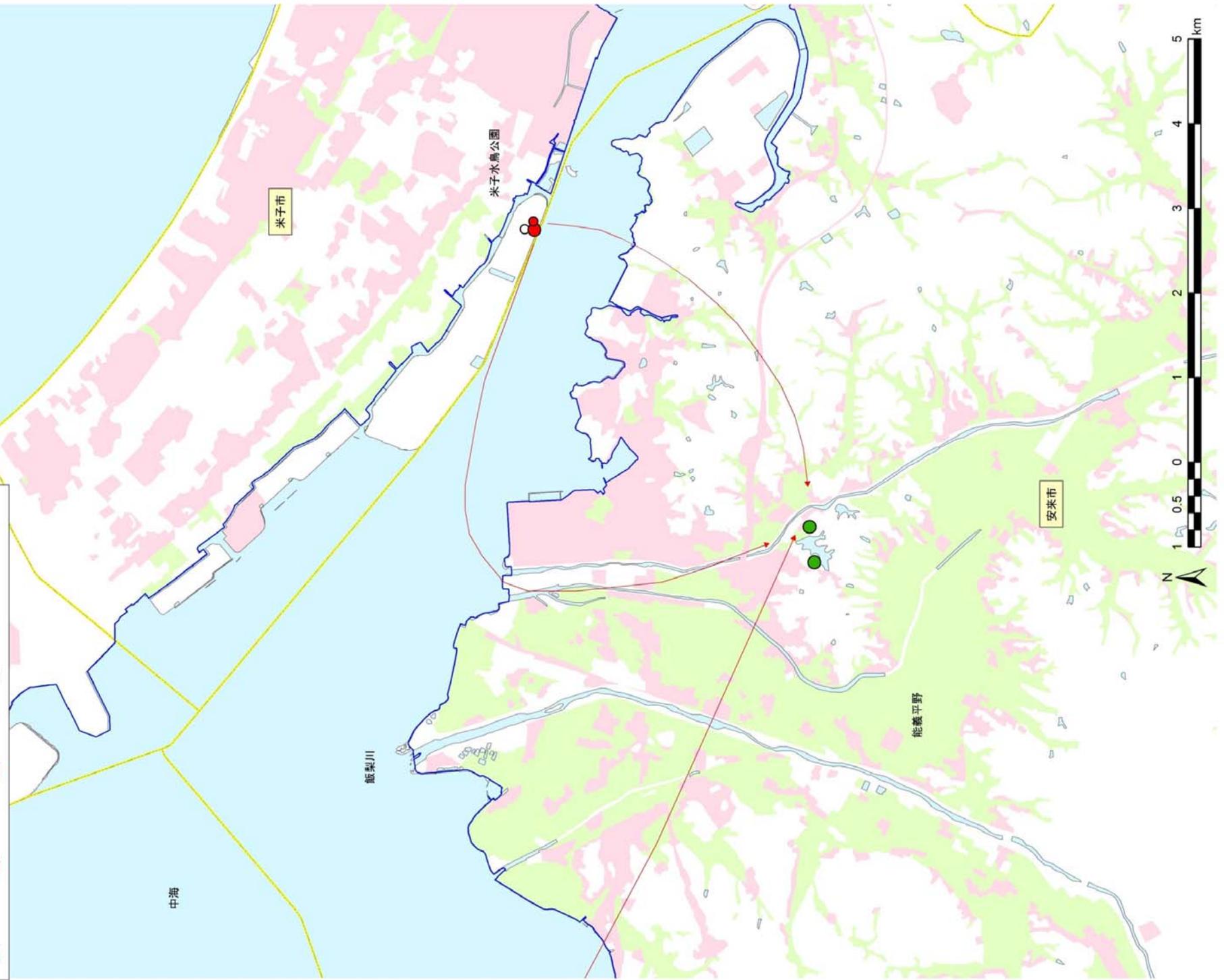


松江市域
平成16年度～平成27年度





安来・米子・境港市域
平成6年度～平成15年度



ねぐら

確認羽数
● 不明
● 1-50
● 51-500
● 501-1000
● 1001-3500

休息地

確認羽数
● 不明
● 1-50
● 51-500
● 501-1000
● 1001-3500

採食地

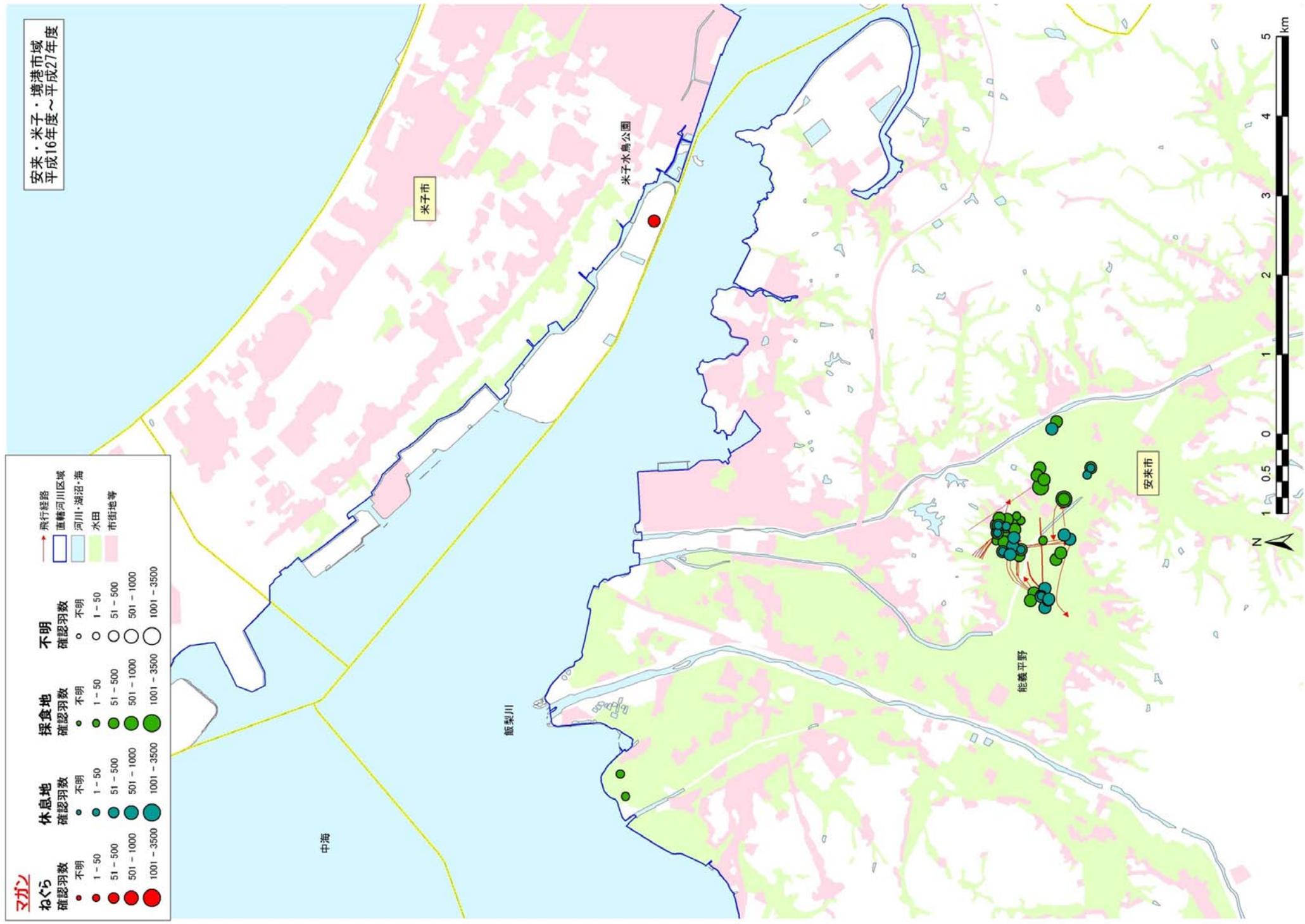
確認羽数
● 不明
● 1-50
● 51-500
● 501-1000
● 1001-3500

不明

確認羽数
○ 不明
○ 1-50
○ 51-500
○ 501-1000
○ 1001-3500

飛行経路
→ 直轄河川区域
→ 河川、湖沼、海
→ 水田
→ 市街地等

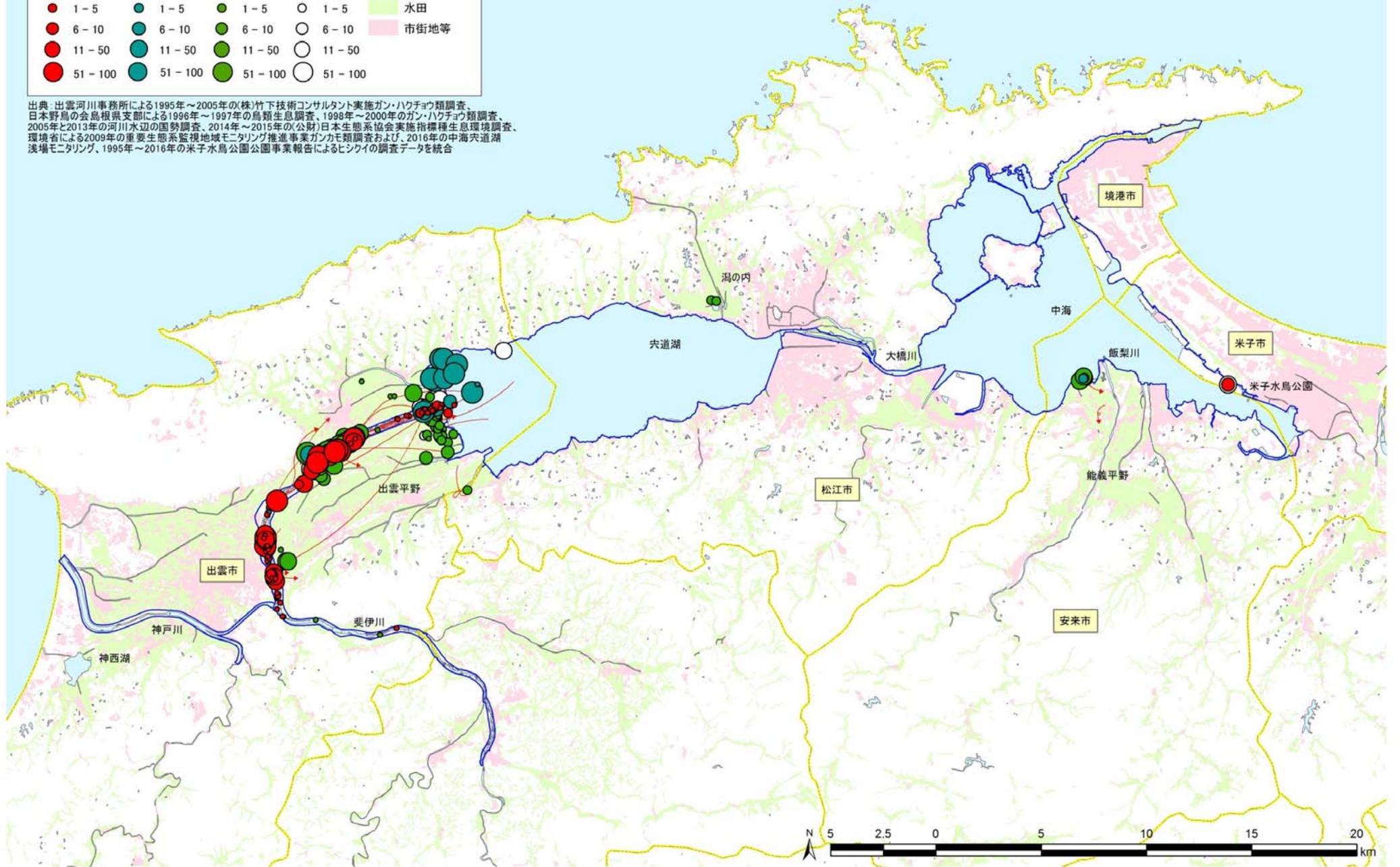
安来・米子・境港市域
平成16年度～平成27年度



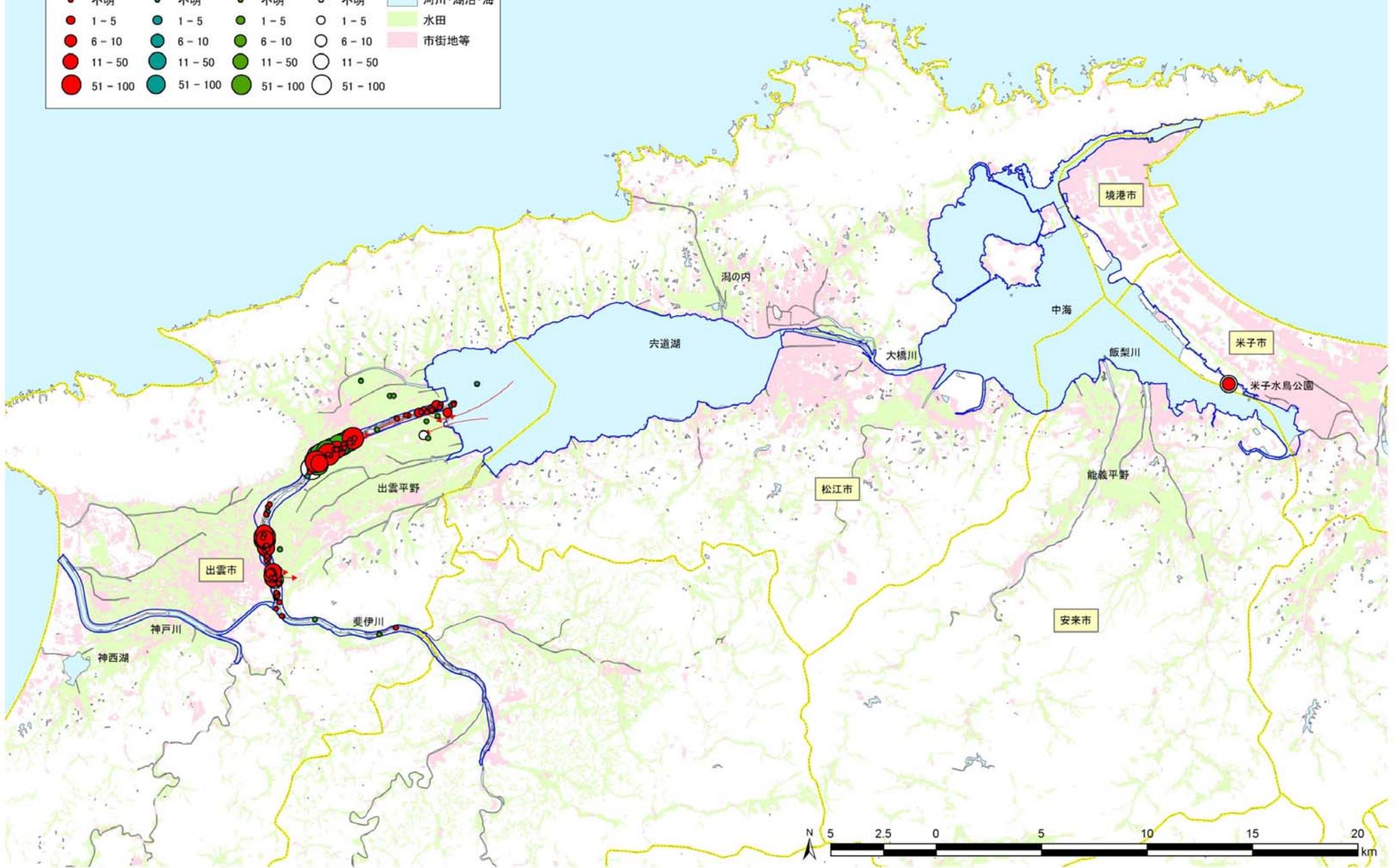
ヒシクイ



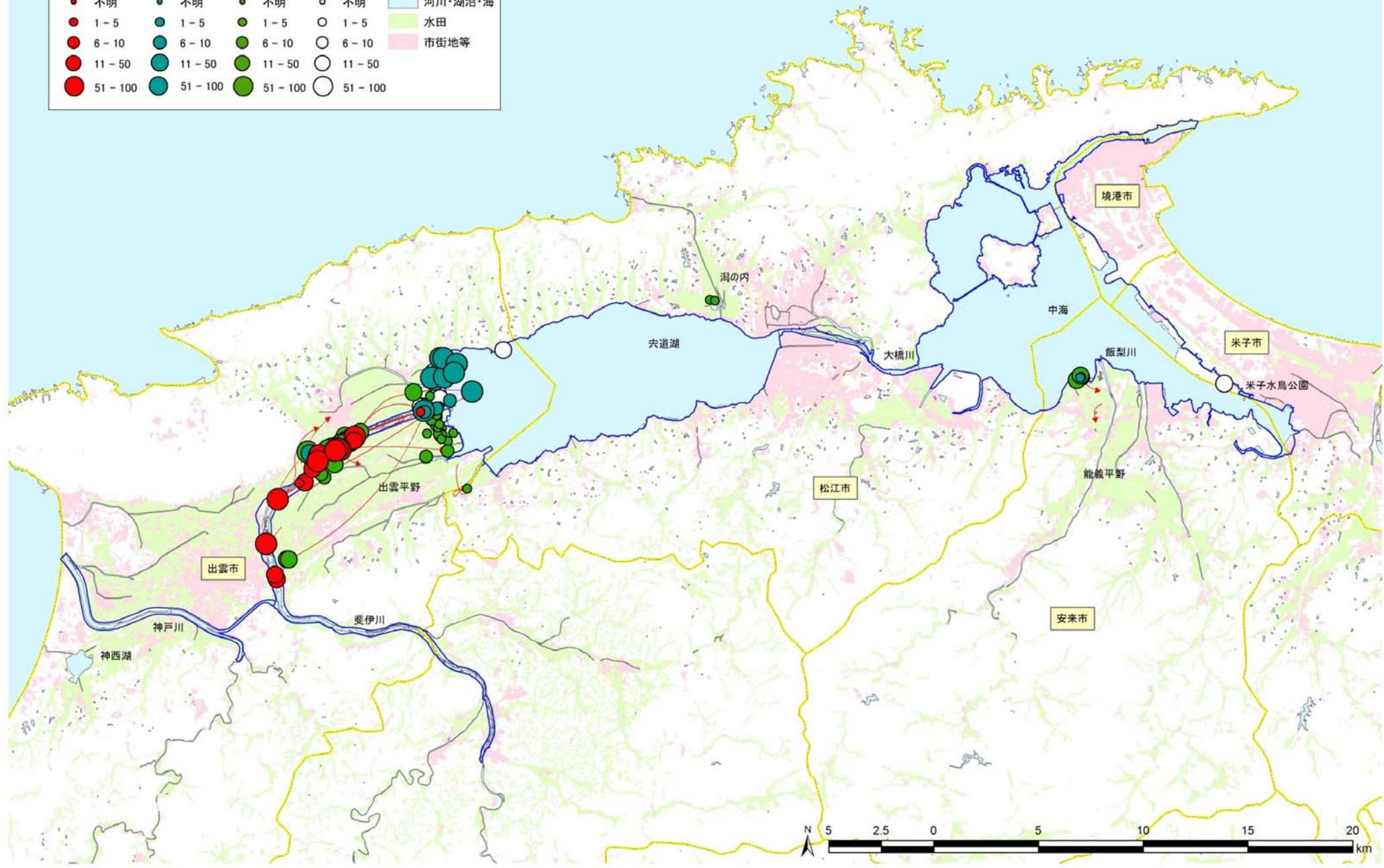
出典: 出雲河川事務所による1995年~2005年の(株)竹下技術コンサルタント実施ガン・ハクチョウ類調査、日本野鳥の会鳥根県支部による1996年~1997年の鳥類生息調査、1998年~2000年のガン・ハクチョウ類調査、2005年と2013年の河川水辺の国勢調査、2014年~2015年の(公財)日本生態系協会実施指標種生息環境調査、環境省による2009年の重要生態系監視地域モニタリング推進事業ガンカモ類調査および、2016年の中海宍道湖浅場モニタリング、1995年~2016年の米子水鳥公園公園事業報告によるヒシクイの調査データを統合



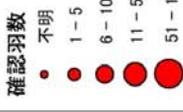
ヒシクイ



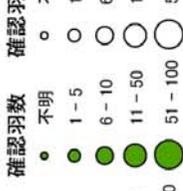
ヒシクイ



ねぐら



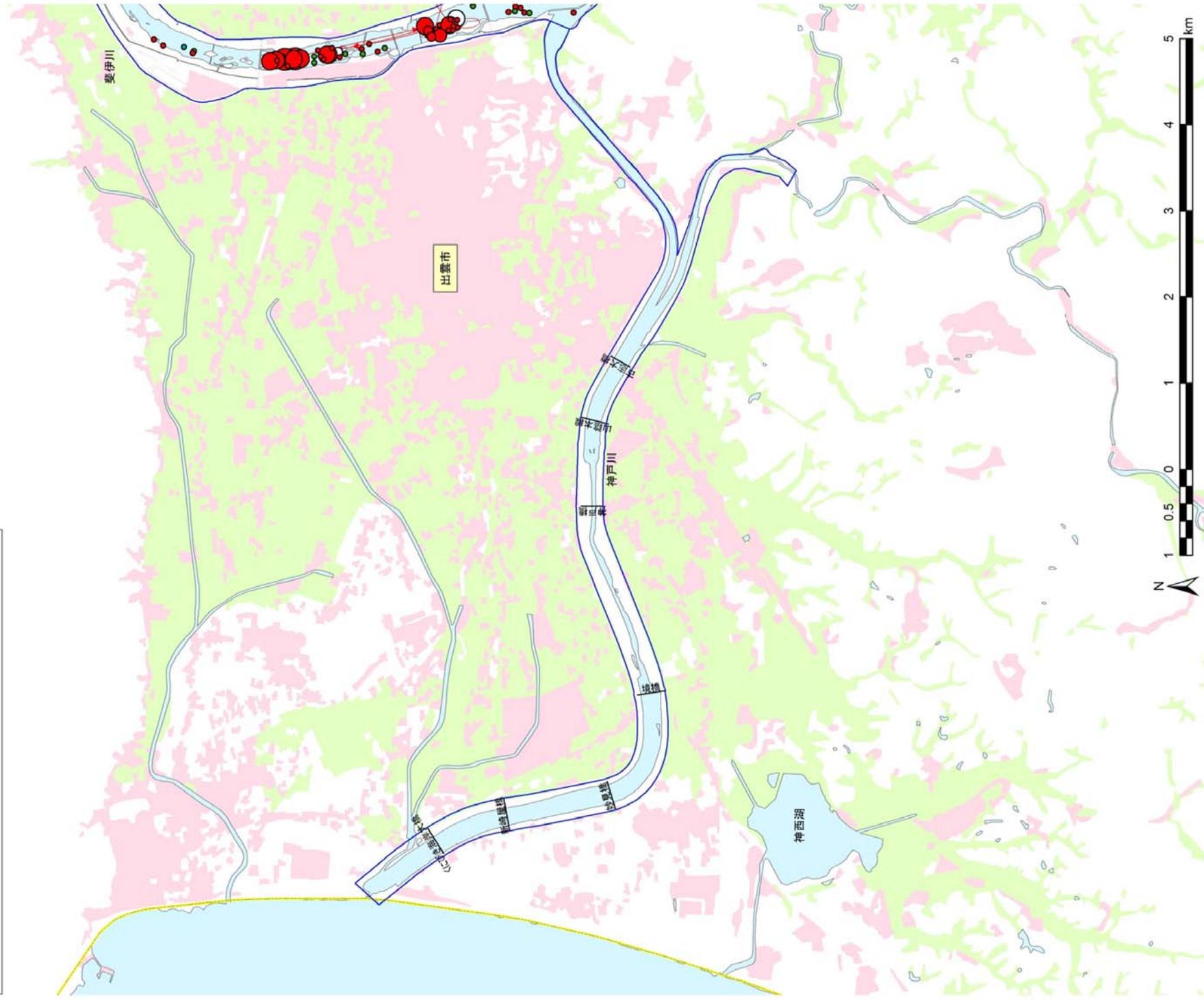
休息地



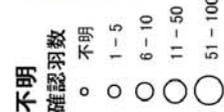
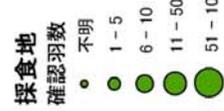
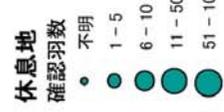
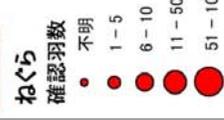
飛行経路



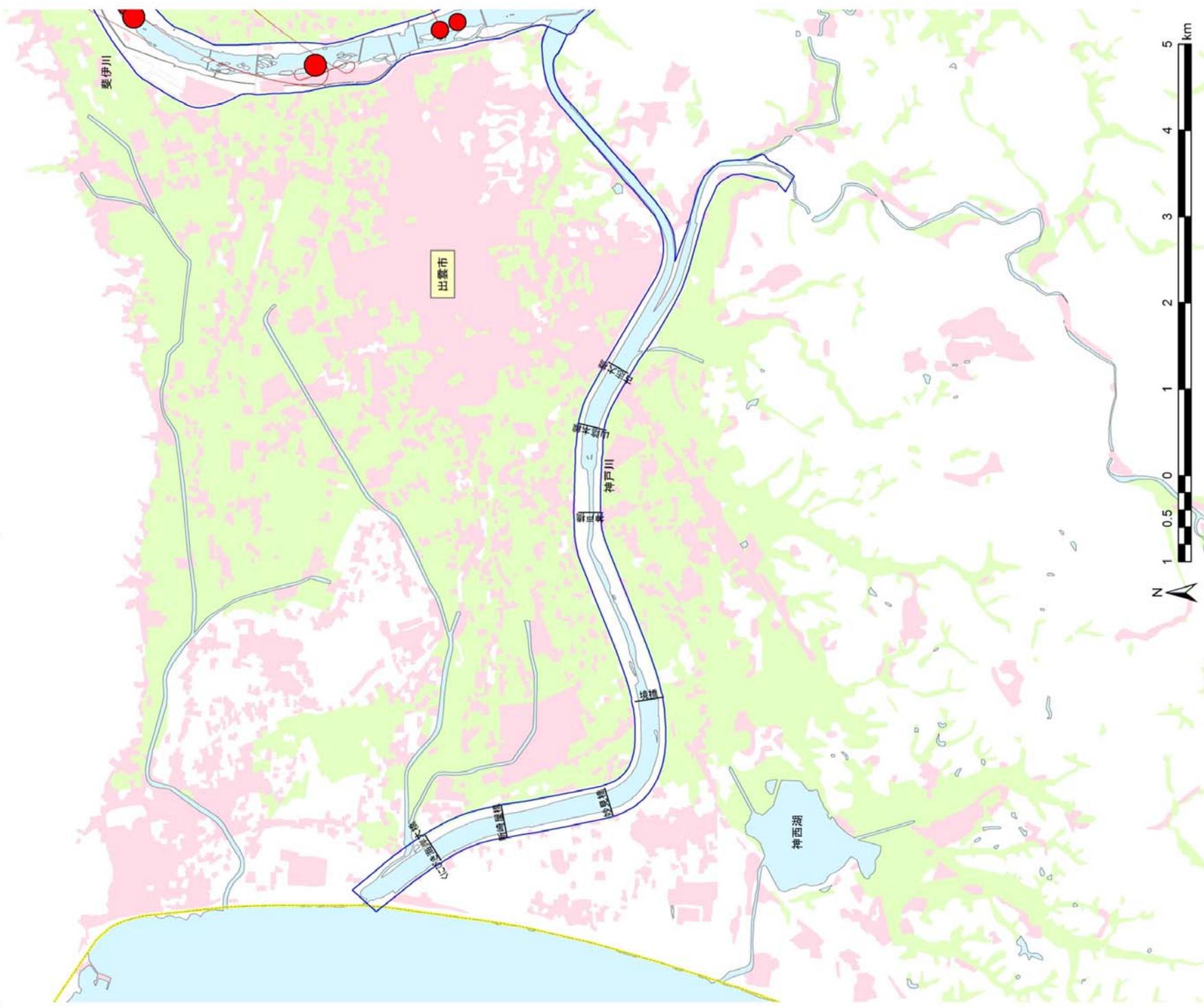
出雲平野西部
平成6年度～平成15年度



ヒシクイ

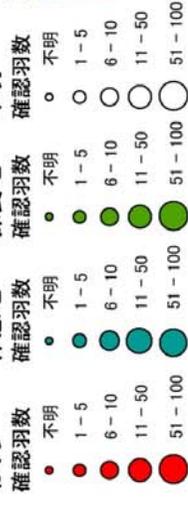


出雲平野西部
平成16年度～平成27年度



ヒシクイ

ねぐら



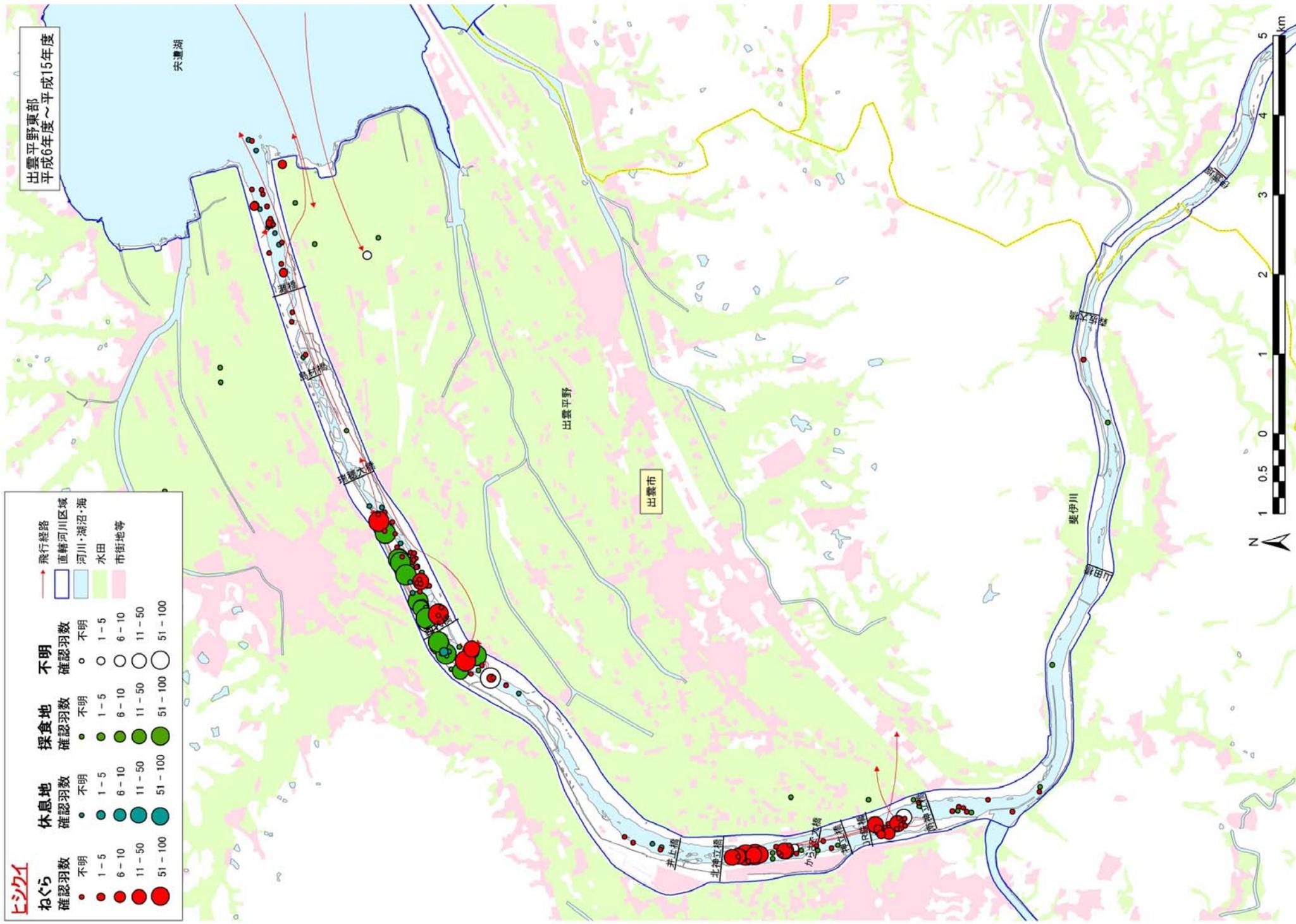
出雲平野東部
平成6年度～平成15年度

大漣湖

出雲平野

出雲市

斐伊川



ヒシクイ

ねぐら

- 確認羽数
- 不明
 - 1-5
 - 6-10
 - 11-50
 - 51-100

休息地

- 確認羽数
- 不明
 - 1-5
 - 6-10
 - 11-50
 - 51-100

採食地

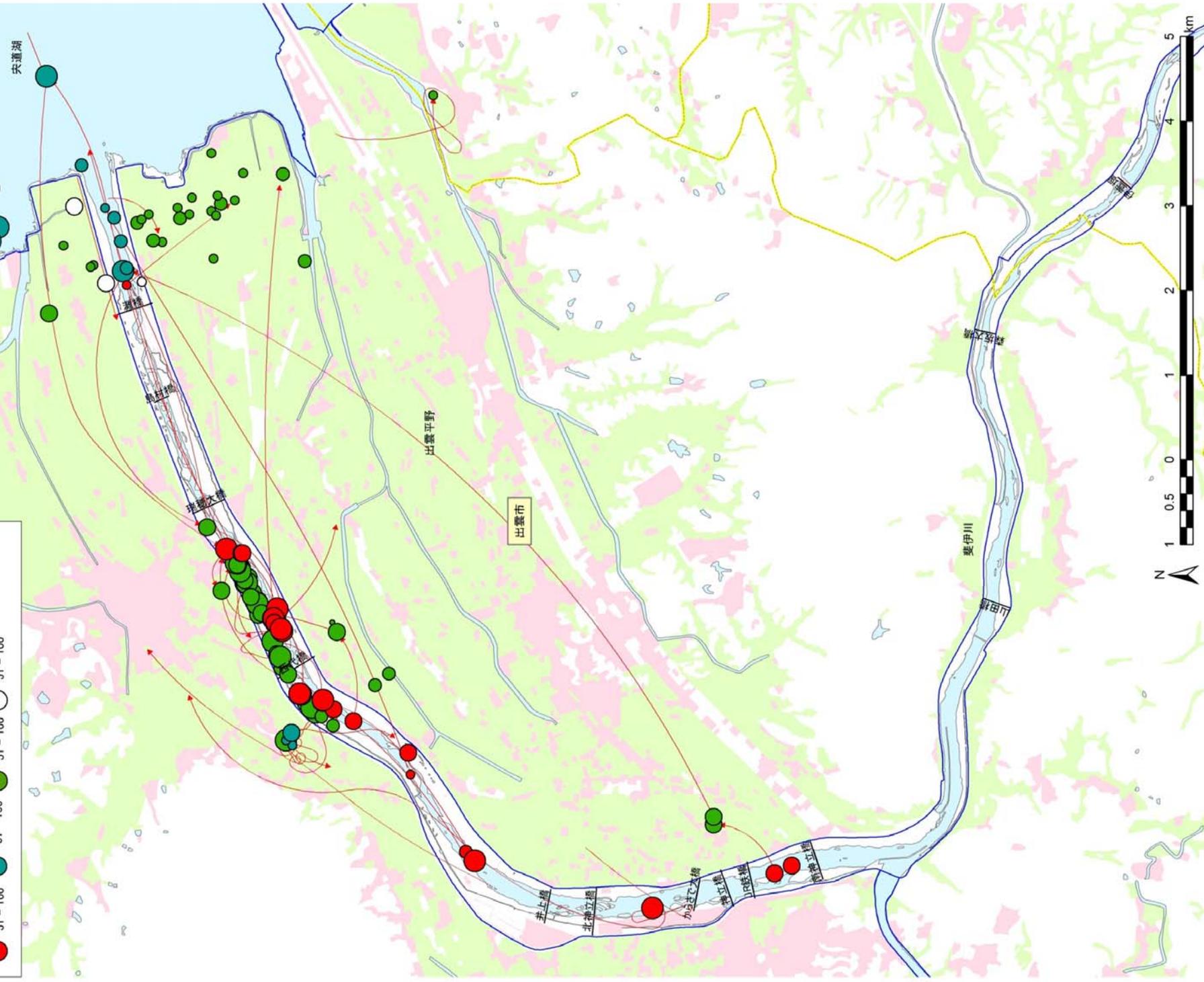
- 確認羽数
- 不明
 - 1-5
 - 6-10
 - 11-50
 - 51-100

不明

- 確認羽数
- 不明
 - 1-5
 - 6-10
 - 11-50
 - 51-100

- 飛行経路
- 直轄河川区域
 - 河川・湖沼・海
 - 水田
 - 市街地等

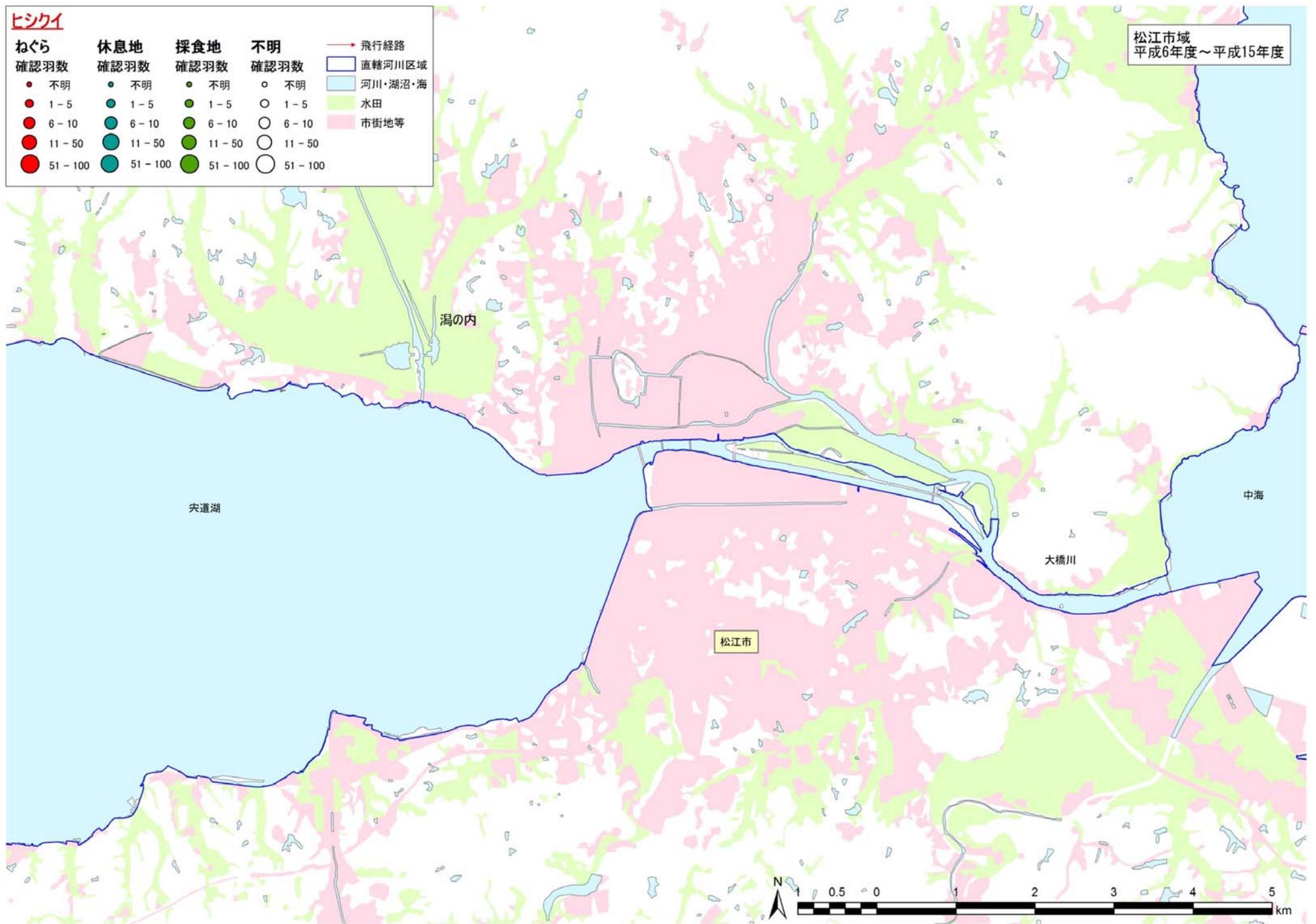
出雲平野東部
平成16年度～平成27年度



ヒシクイ



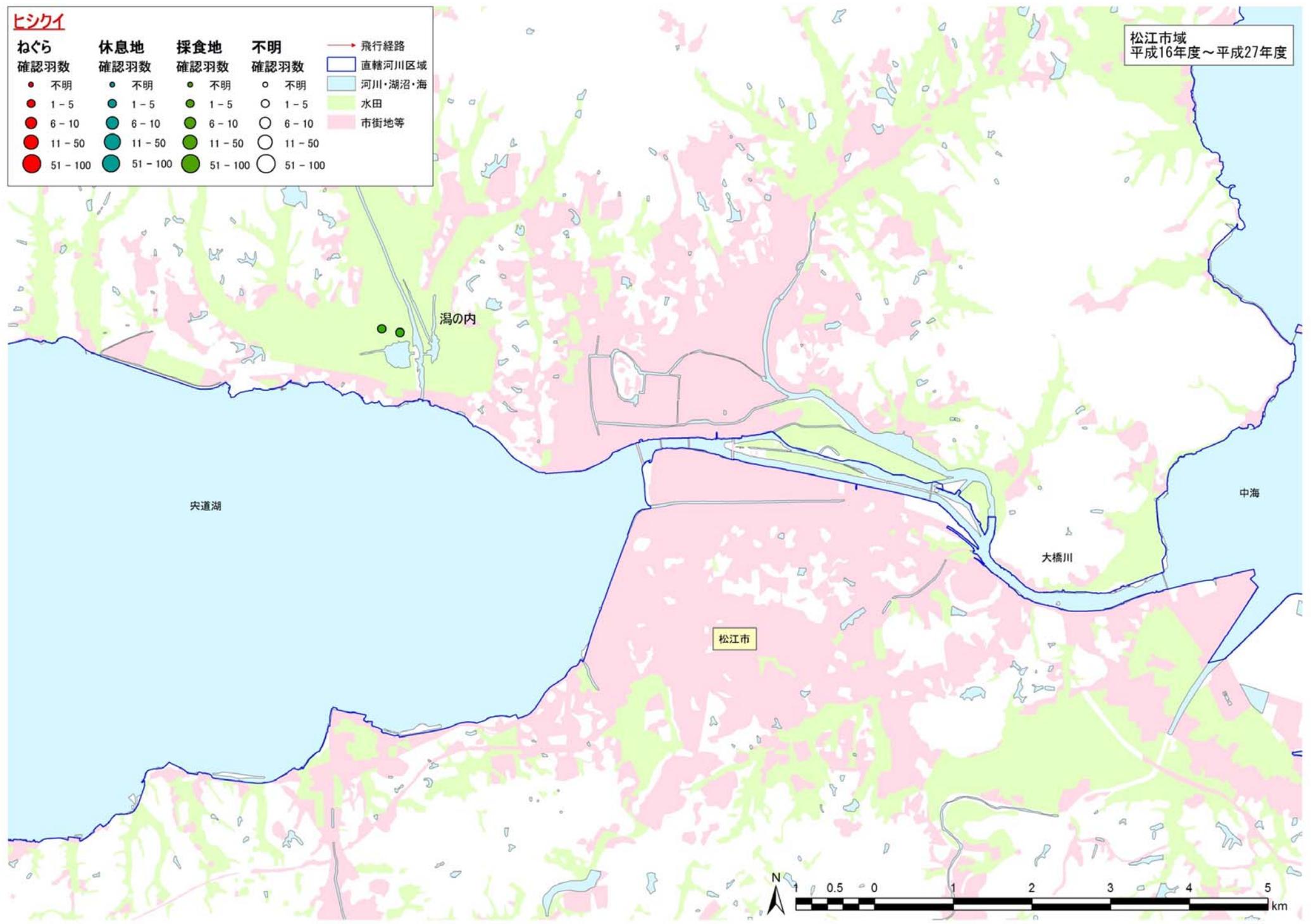
松江市域
平成6年度～平成15年度



ヒシクイ



松江市域
平成16年度～平成27年度



ねぐら

- 確認羽数
- 不明
- 1-5
- 6-10
- 11-50
- 51-100

休息地

- 確認羽数
- 不明
- 1-5
- 6-10
- 11-50
- 51-100

採食地

- 確認羽数
- 不明
- 1-5
- 6-10
- 11-50
- 51-100

不明

- 確認羽数
- 不明
- 1-5
- 6-10
- 11-50
- 51-100

飛行経路

- 直轄河川区域
- 河川・湖沼・海
- 水田
- 市街地等

安来・米子・境港市域
平成6年度～平成15年度



ねぐら

- 確認羽数
- 不明
 - 1-5
 - 6-10
 - 11-50
 - 51-100

休息地

- 確認羽数
- 不明
 - 1-5
 - 6-10
 - 11-50
 - 51-100

採食地

- 確認羽数
- 不明
 - 1-5
 - 6-10
 - 11-50
 - 51-100

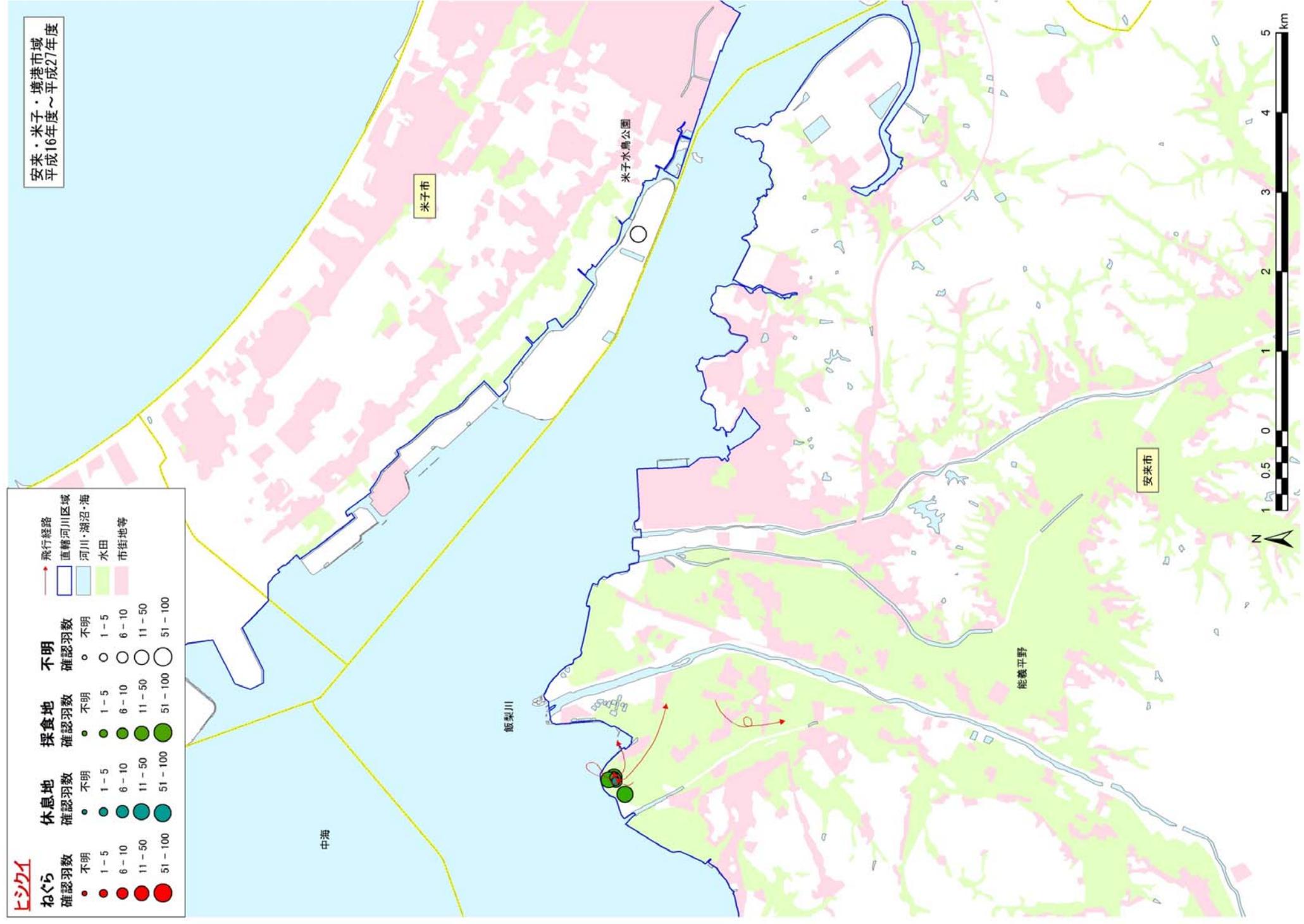
不明

- 確認羽数
- 不明
 - 1-5
 - 6-10
 - 11-50
 - 51-100

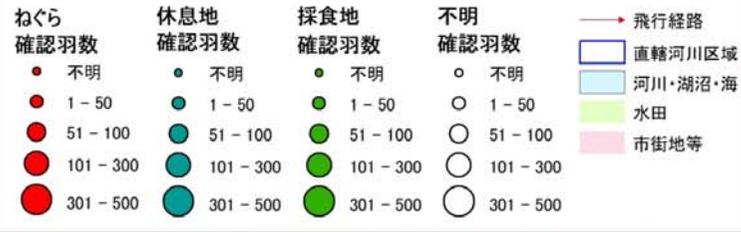
飛行経路

- 直轄河川区域
- 河川・湖沼・海
- 水田
- 市街地等

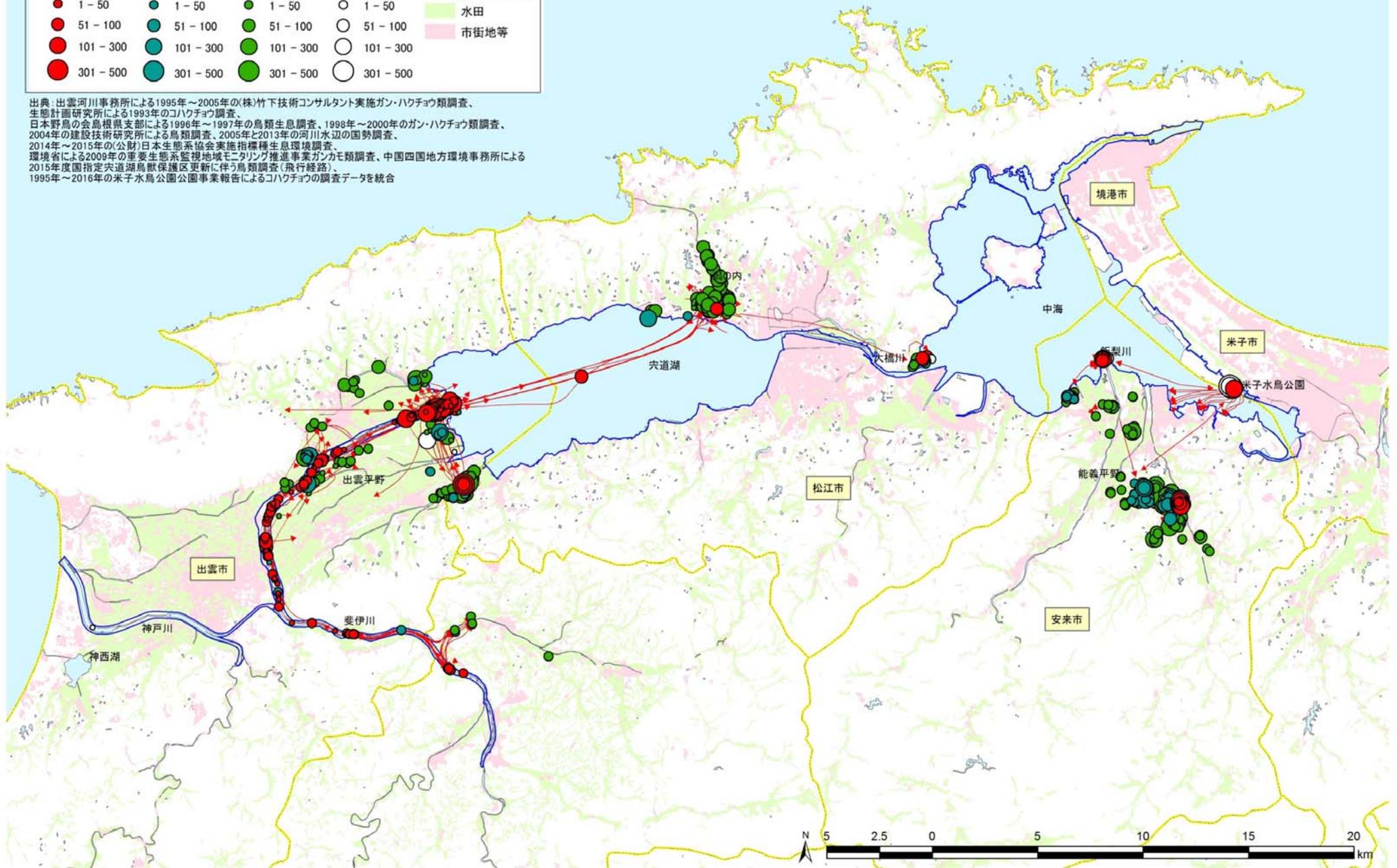
安来・米子・境港市域
平成16年度～平成27年度



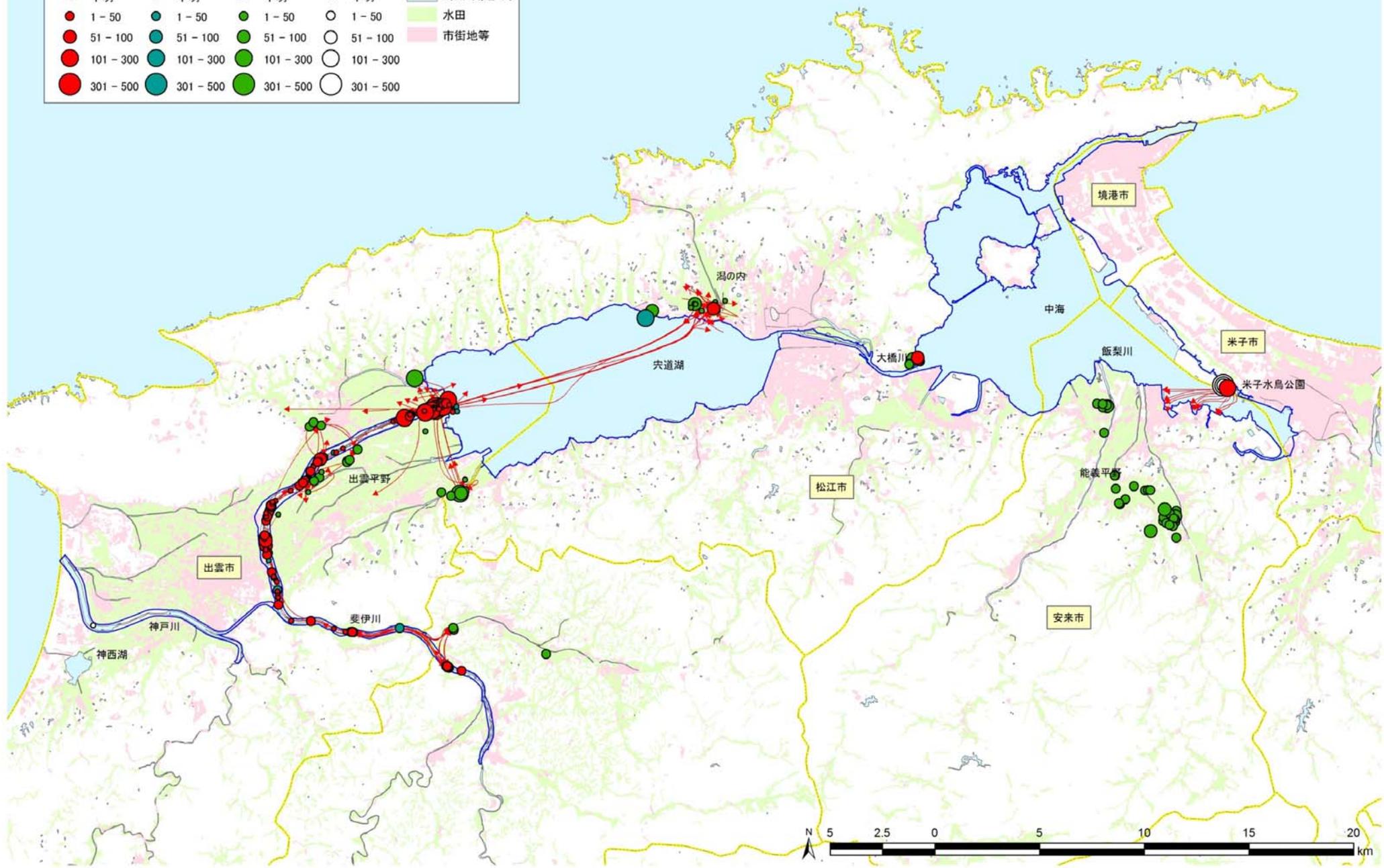
コハクチョウ



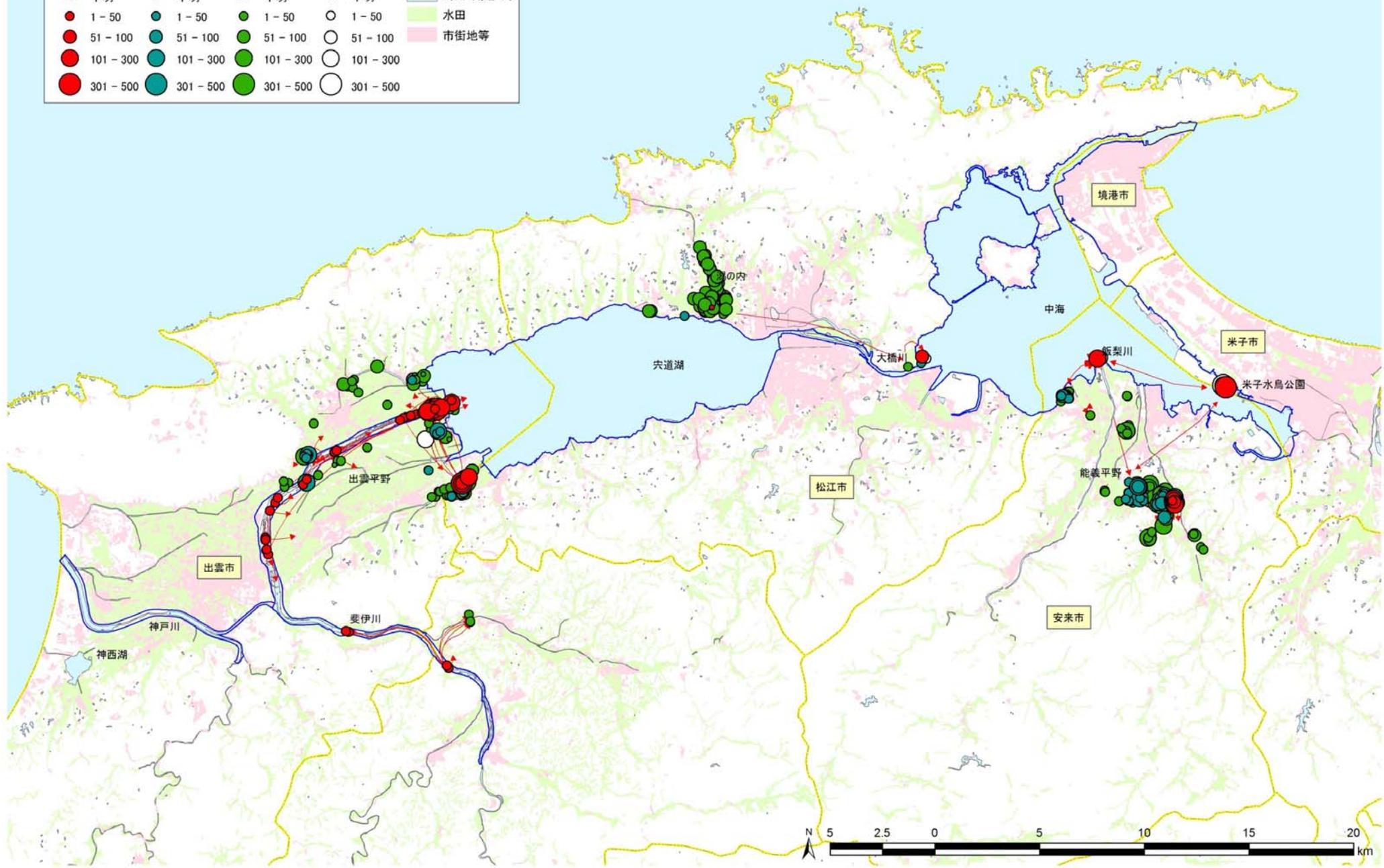
出典：出雲河川事務所による1995年～2005年の(株)竹下技術コンサルタント実施ガン・ハクチョウ類調査、生態計画研究所による1993年のコハクチョウ調査、日本野鳥の会鳥根県支部による1996年～1997年の鳥類生息調査、1998年～2000年のガン・ハクチョウ類調査、2004年の建設技術研究所による鳥類調査、2005年と2013年の河川水辺の国勢調査、2014年～2015年の(公財)日本生態系協会実施指標種生息環境調査、環境省による2009年の重要生態系監視地域モニタリング推進事業ガンカモ類調査、中国四国地方環境事務所による2015年度国指定宍道湖鳥獣保護区更新に伴う鳥類調査(飛行経路)、1995年～2016年の米子水鳥公園事業報告によるコハクチョウの調査データを統合

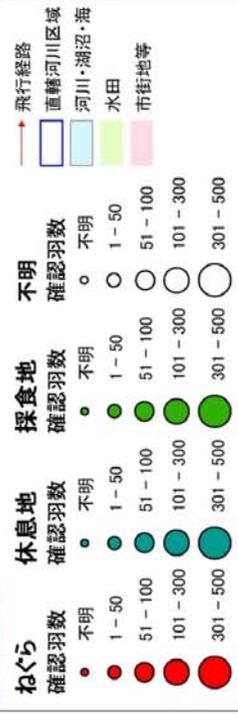


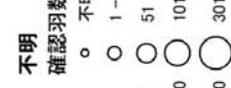
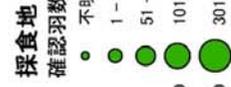
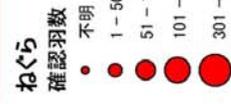
コハクチョウ



コハクチョウ



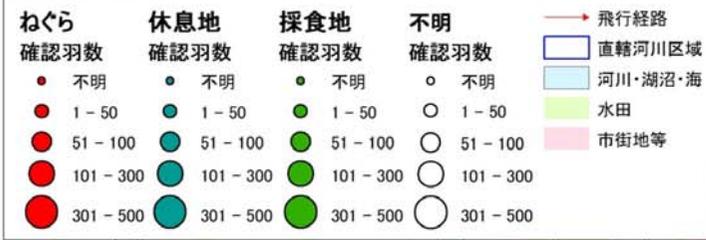




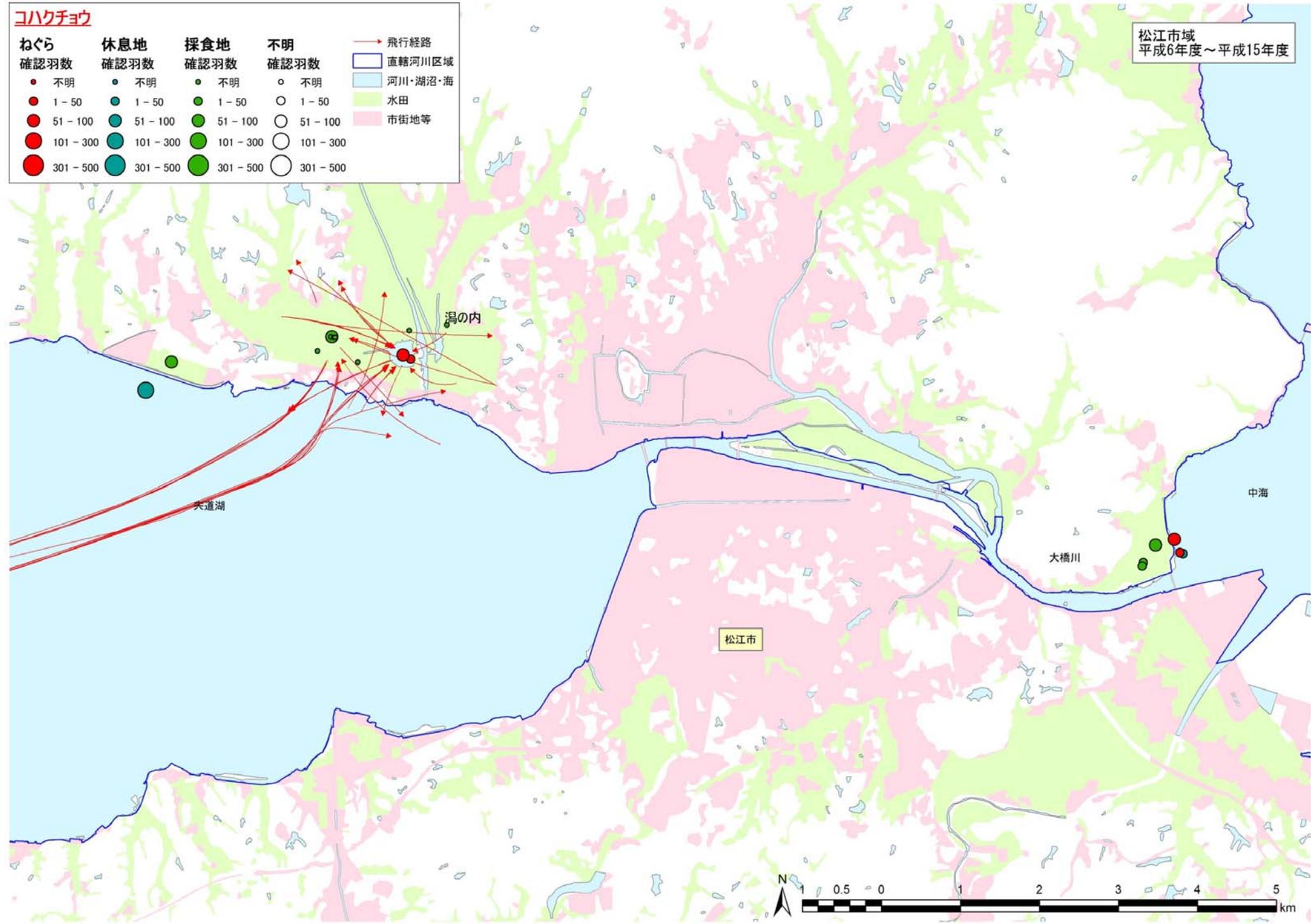
出雲平野東部
平成16年度～平成27年度



コハクチョウ



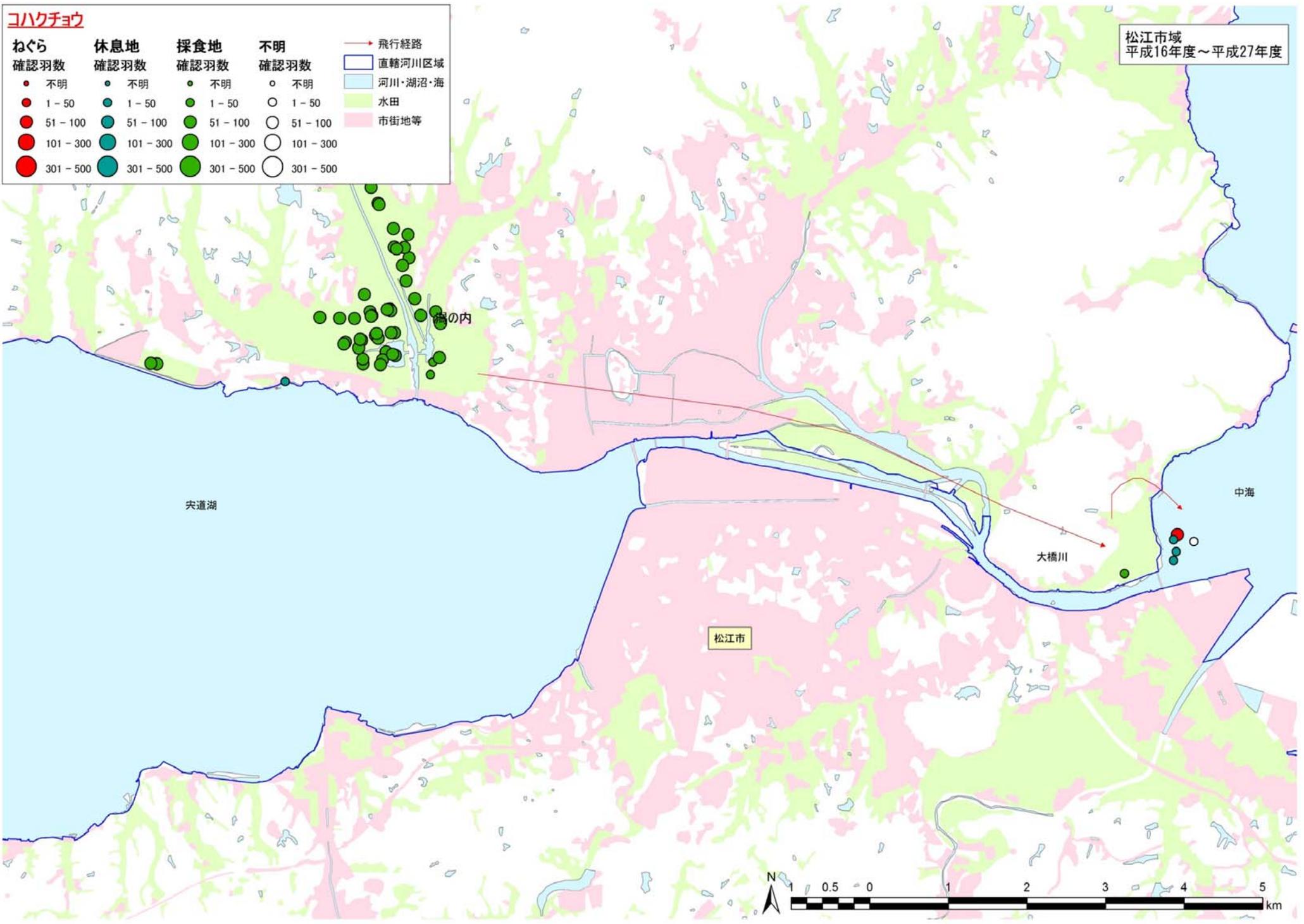
松江市域
平成6年度～平成15年度



コハクチョウ



松江市域
平成16年度～平成27年度



ねぐら

- 確認羽数
 ● 不明
 ● 1-50
 ● 51-100
 ● 101-300
 ● 301-500

休息地

- 確認羽数
 ● 不明
 ● 1-50
 ● 51-100
 ● 101-300
 ● 301-500

採食地

- 確認羽数
 ● 不明
 ● 1-50
 ● 51-100
 ● 101-300
 ● 301-500

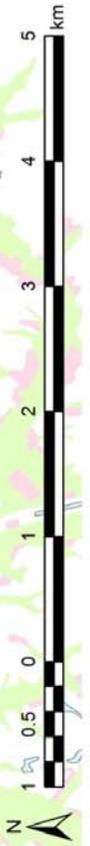
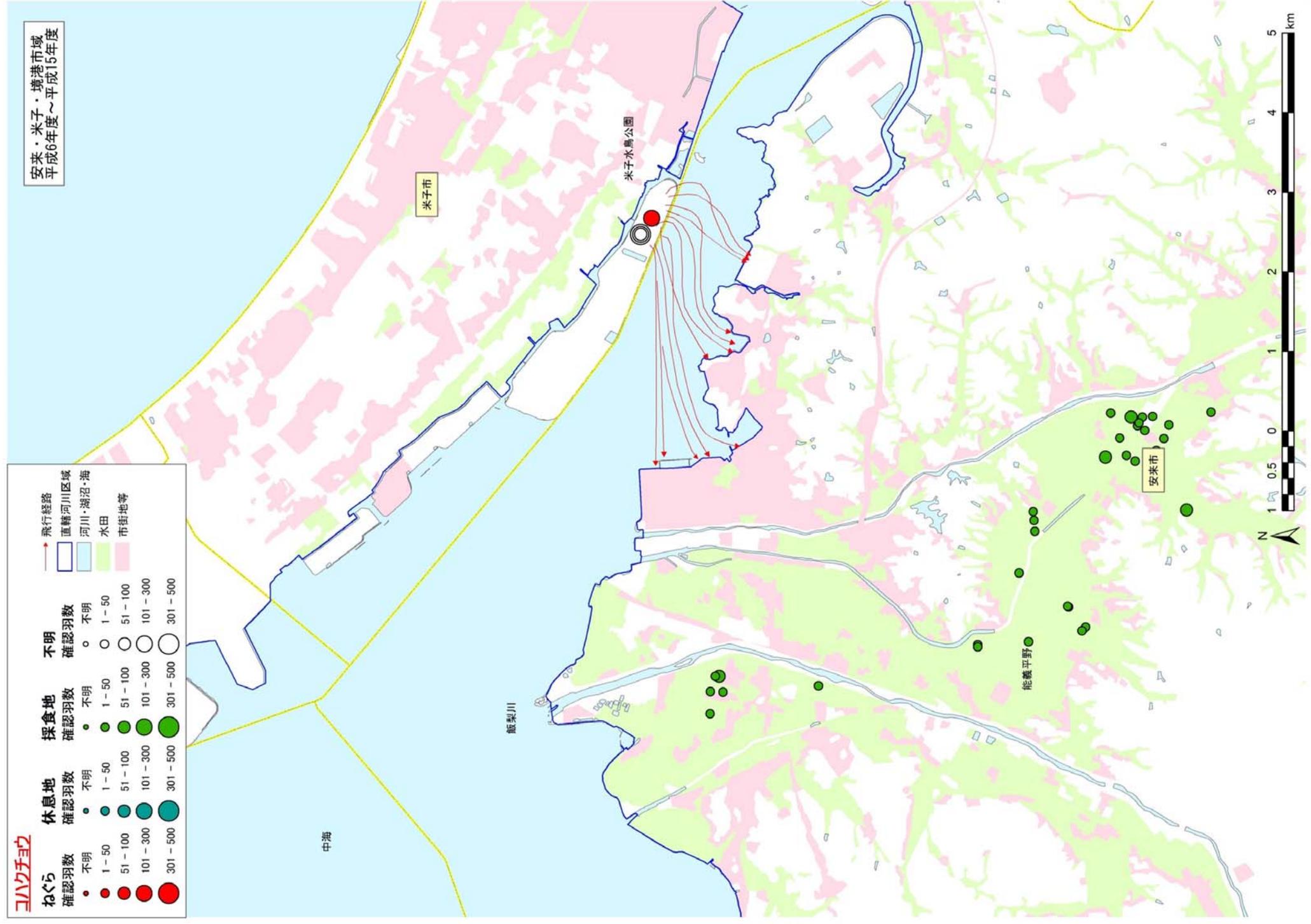
不明

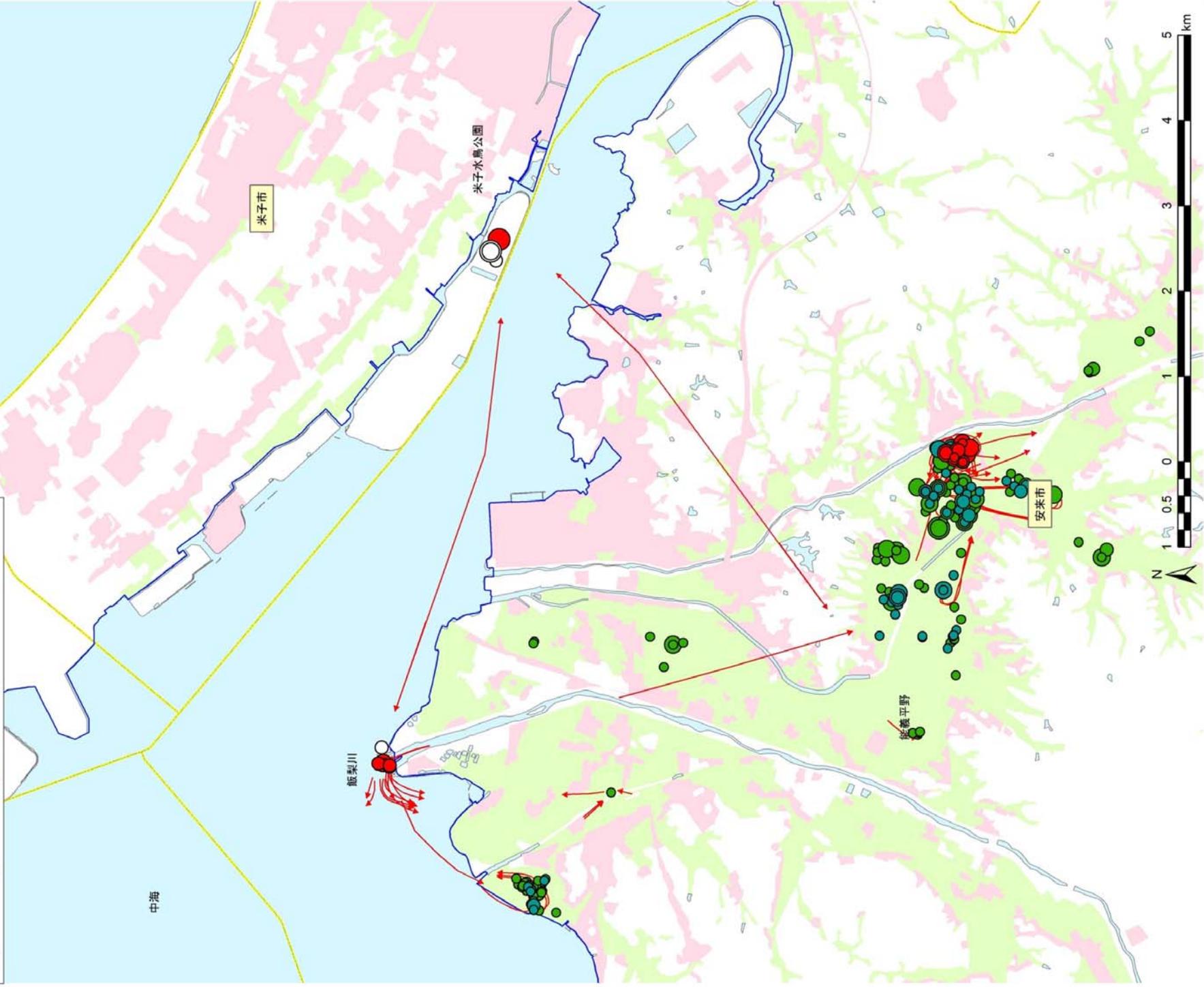
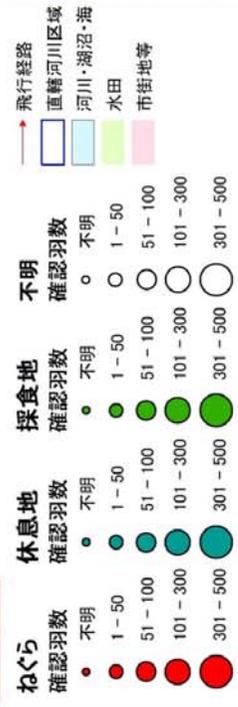
- 確認羽数
 ○ 不明
 ○ 1-50
 ○ 51-100
 ○ 101-300
 ○ 301-500

飛行経路

- 直轄河川区域
 河川・湖沼・海
 水田
 市街地等

安来・米子・境港市域
 平成6年度～平成15年度

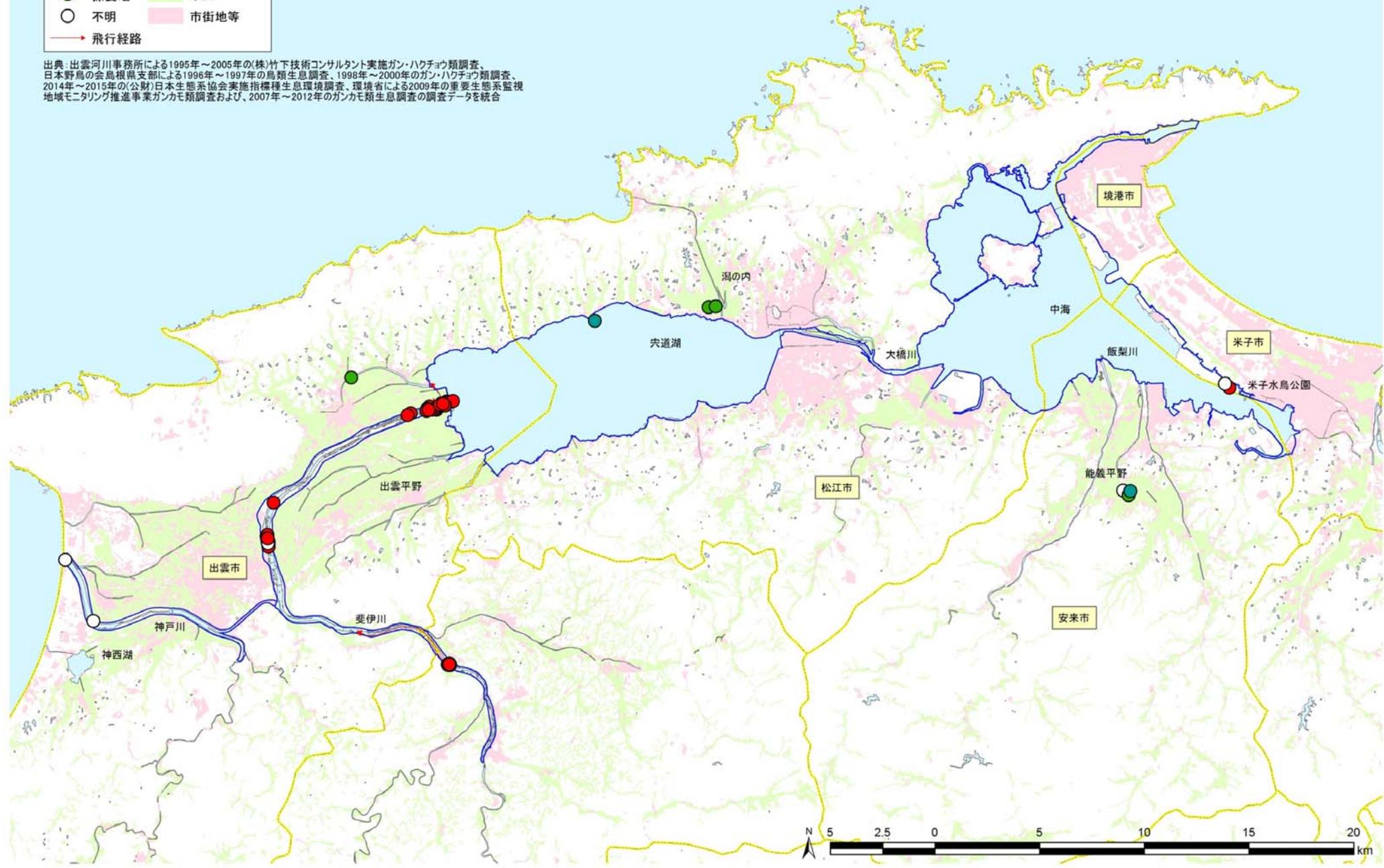




オオハクチョウ

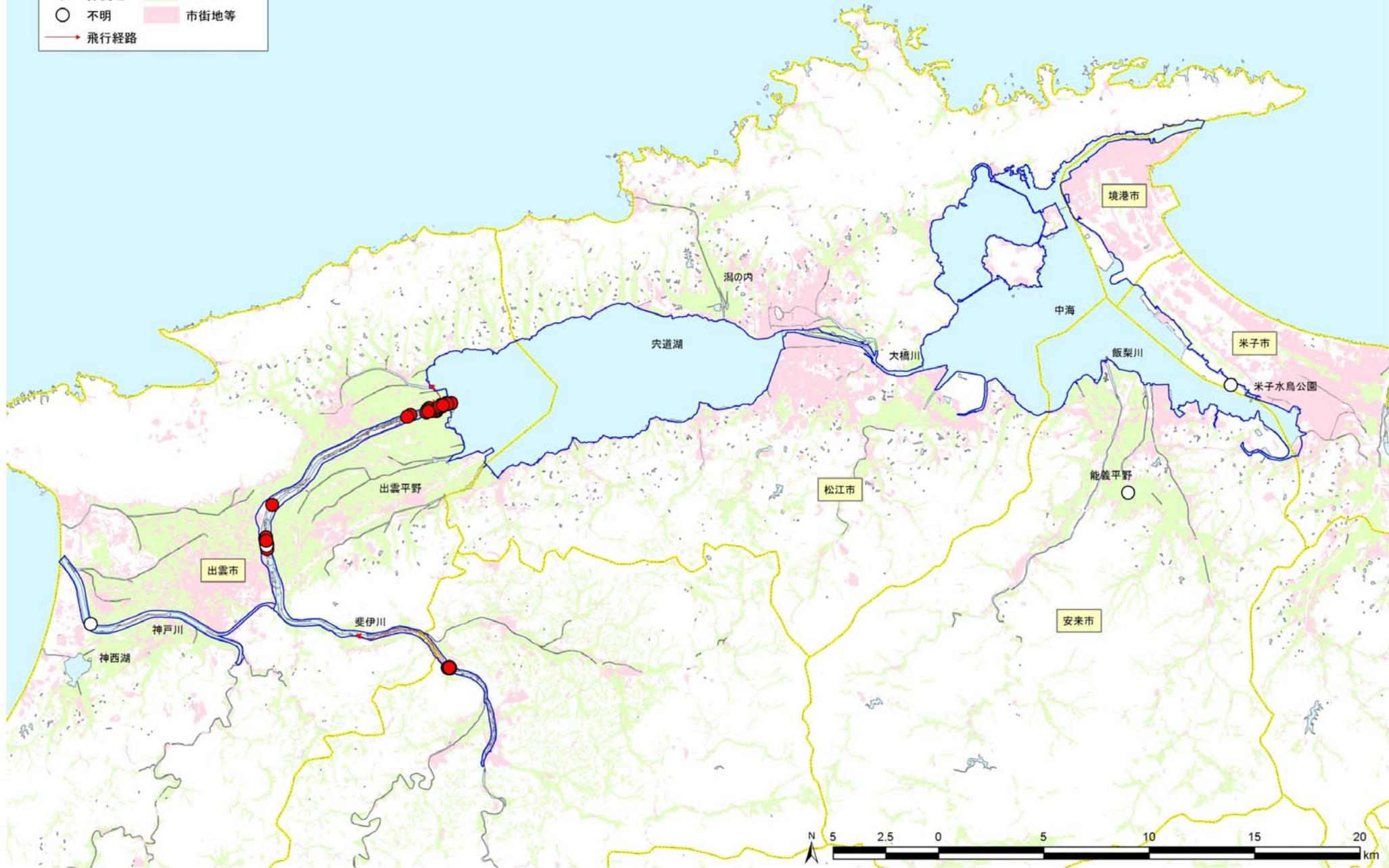
- ねぐら
- 休息地
- 採食地
- 不明
- 飛行経路
- 直轄河川区域
- 河川・湖沼・海
- 水田
- 市街地等

出典：出雲河川事務所による1995年～2005年の(株)竹下技術コンサルタント実施ガン・ハクチョウ類調査、
 日本野鳥の会鳥根県支部による1996年～1997年の鳥類生息調査、1998年～2000年のガン・ハクチョウ類調査、
 2014年～2015年の(公財)日本生態系協会実施指標種生息環境調査、環境省による2009年の重要生態系監視
 地域モニタリング推進事業ガンカモ類調査および、2007年～2012年のガンカモ類生息調査の調査データを統合



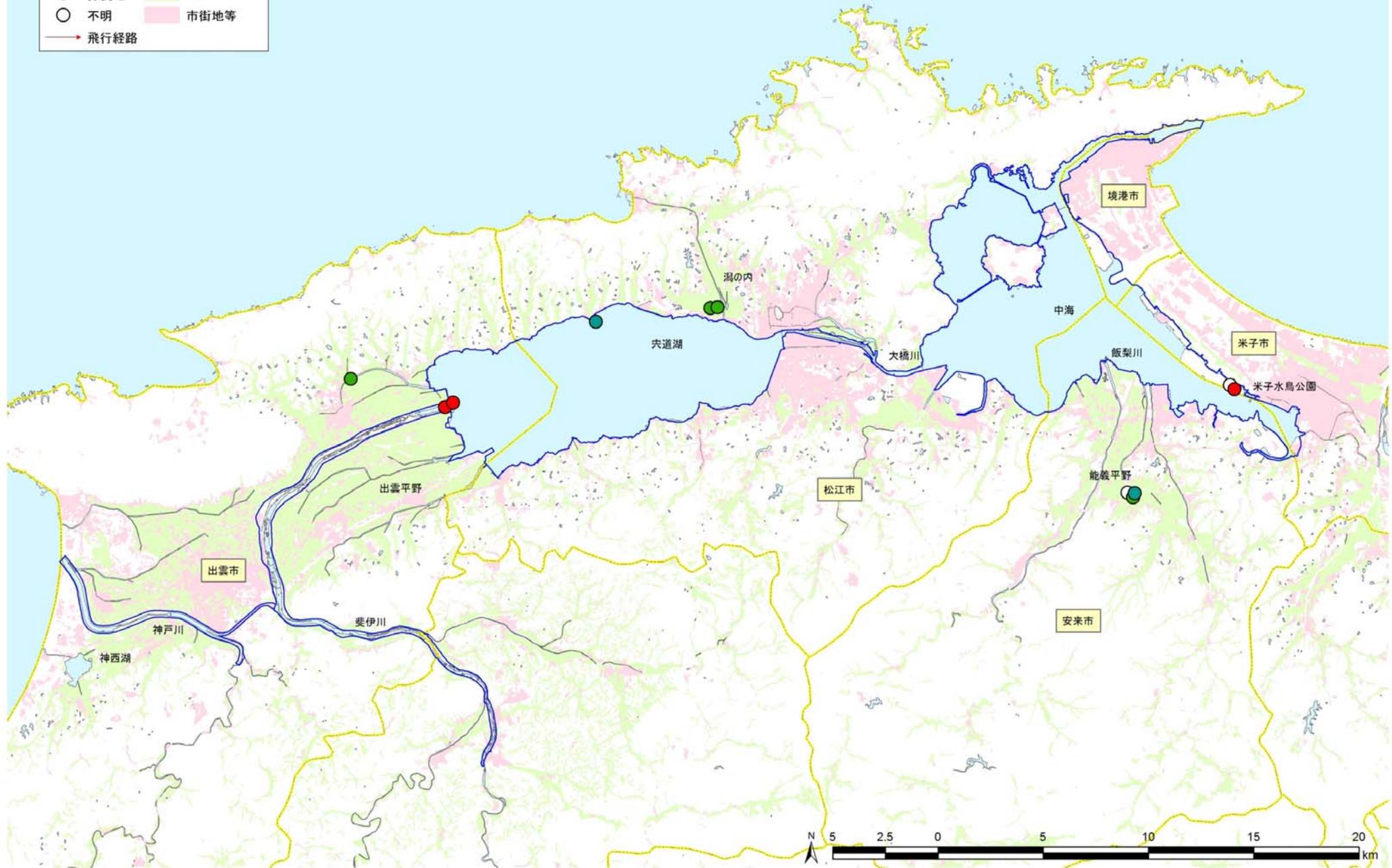
オオハクチョウ

- ねぐら
- 休息地
- 採食地
- 不明
- 飛行経路
- 直轄河川区域
- 河川・湖沼・海
- 水田
- 市街地等



オオハクチョウ

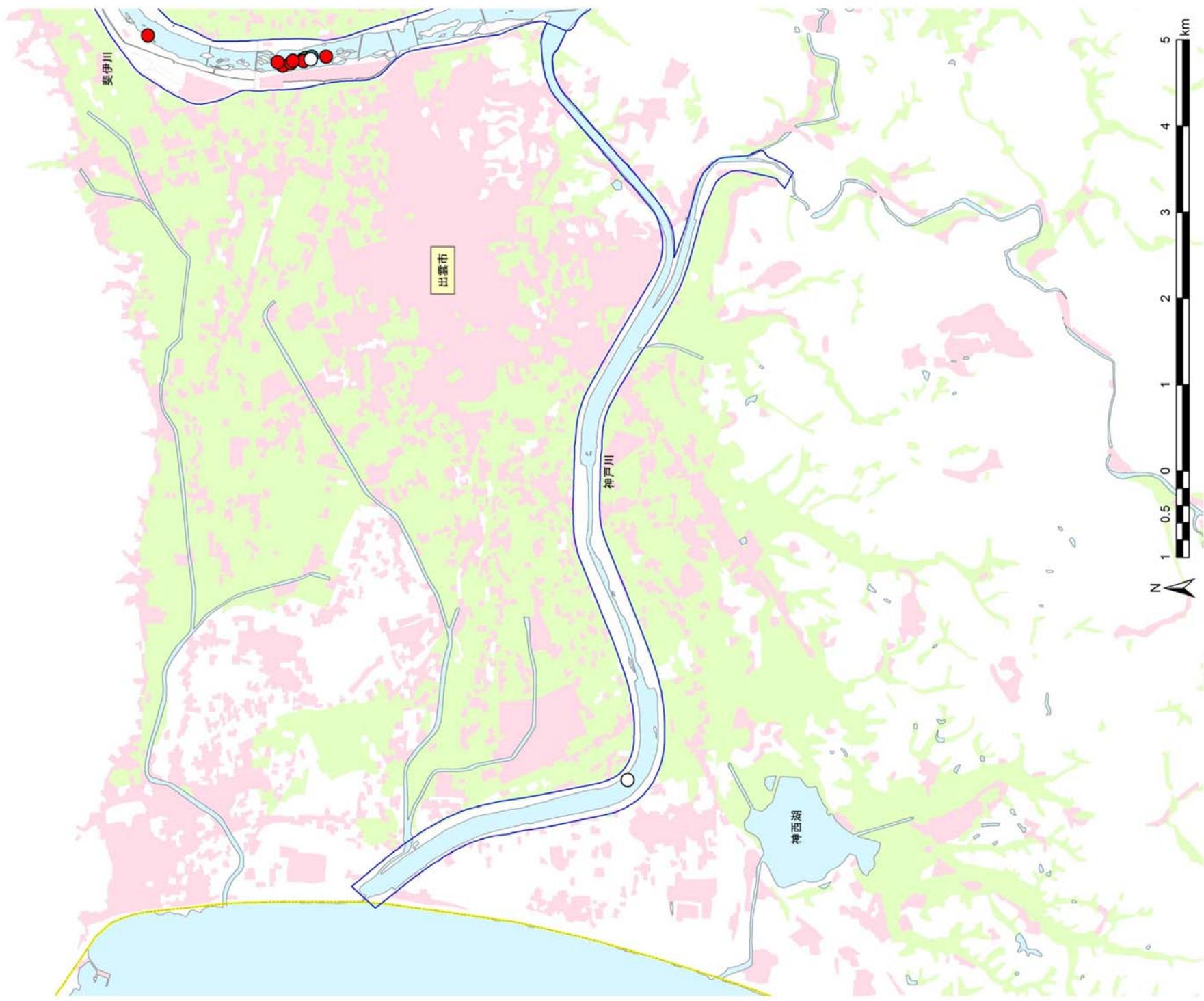
- ねぐら
- 休息地
- 採食地
- 不明
- 飛行経路
- 直轄河川区域
- 河川・湖沼・海
- 水田
- 市街地等



オオハク子立

- ねぐら
- 休息地
- 採食地
- 不明
- 飛行経路
- 直轄河川区域
- 河川・湖沼・海
- 水田
- 市街地等

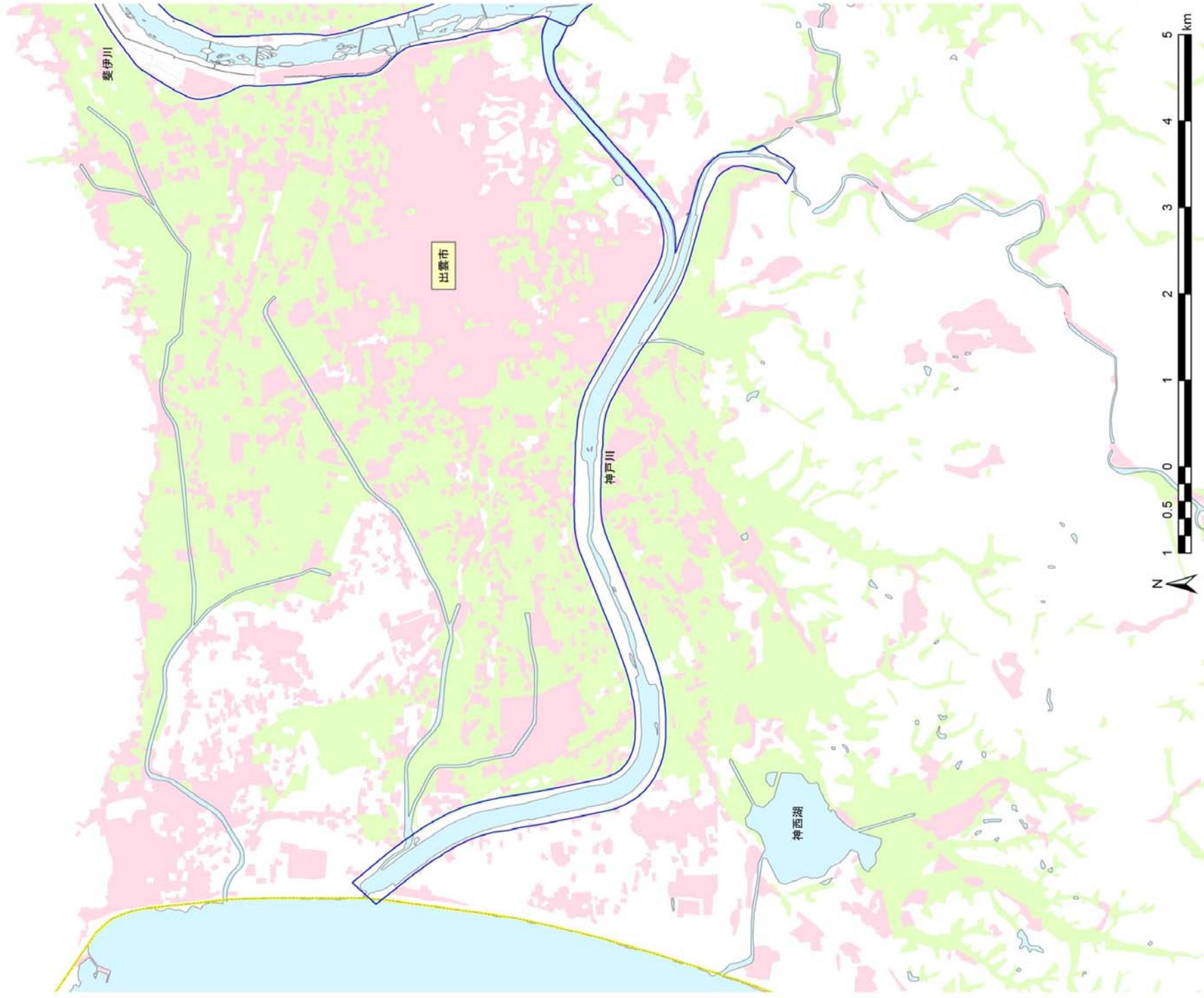
出雲平野西部
平成6年度～平成15年度



オオハク子川

- ねくら
- 休息地
- 採食地
- 不明
- 飛行経路
- 直轄河川区域
- 河川・湖沼・海
- 水田
- 市街地等

出雲平野西部
平成16年度～平成27年度



オオハクチ立

- ねぐら
 - 休息地
 - 採食地
 - 不明
 - 飛行経路
- 直轄河川区域
 - 河川・湖沼・海
 - 水田
 - 市街地等

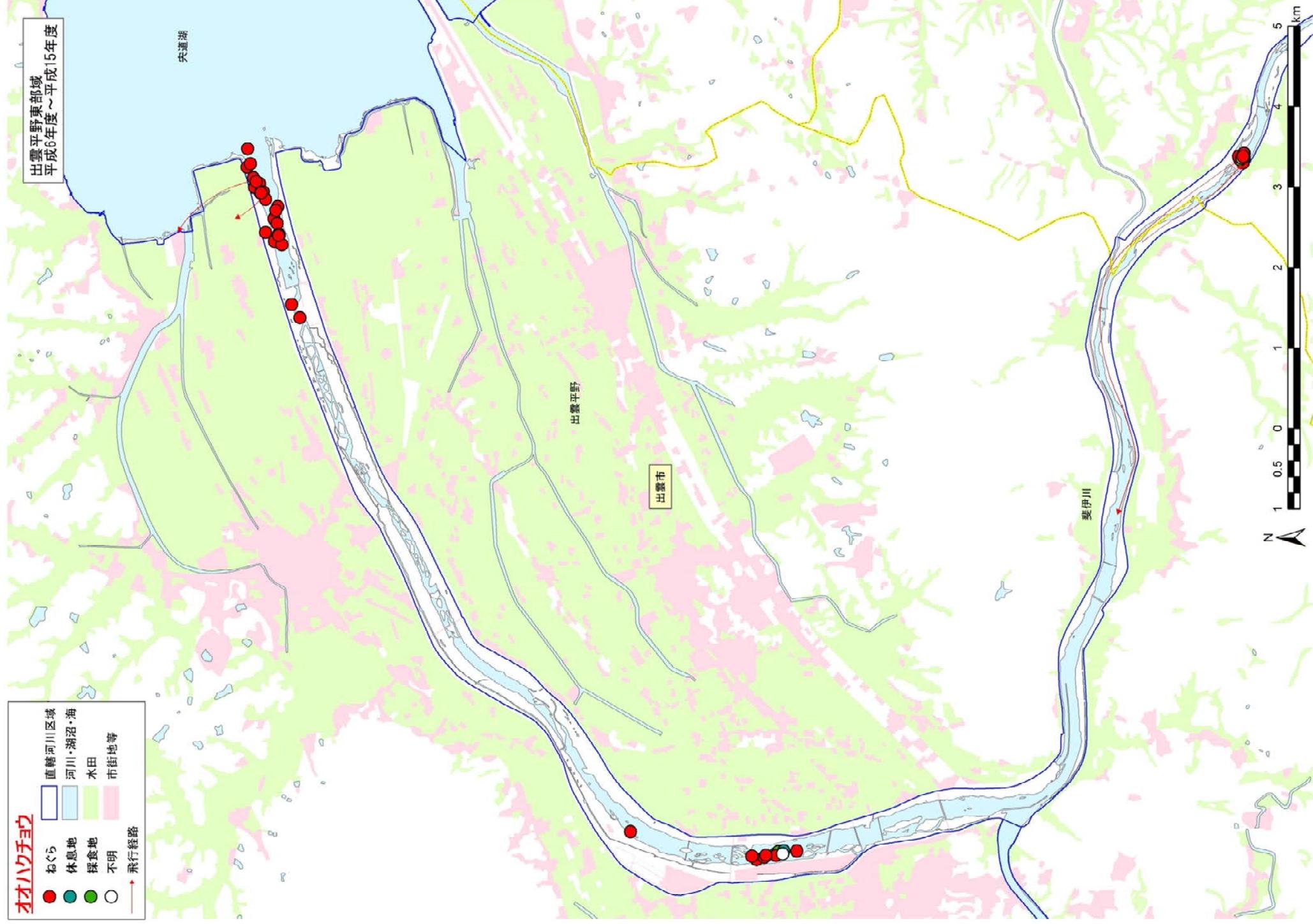
出雲平野東部域
平成6年度～平成15年度

宍道湖

出雲平野

出雲市

斐伊川



オオハワチ

- ねぐら
- 休息地
- 採食地
- 不明
- 飛行経路
- 直轄河川区域
- 河川・湖沼・海
- 水田
- 市街地等

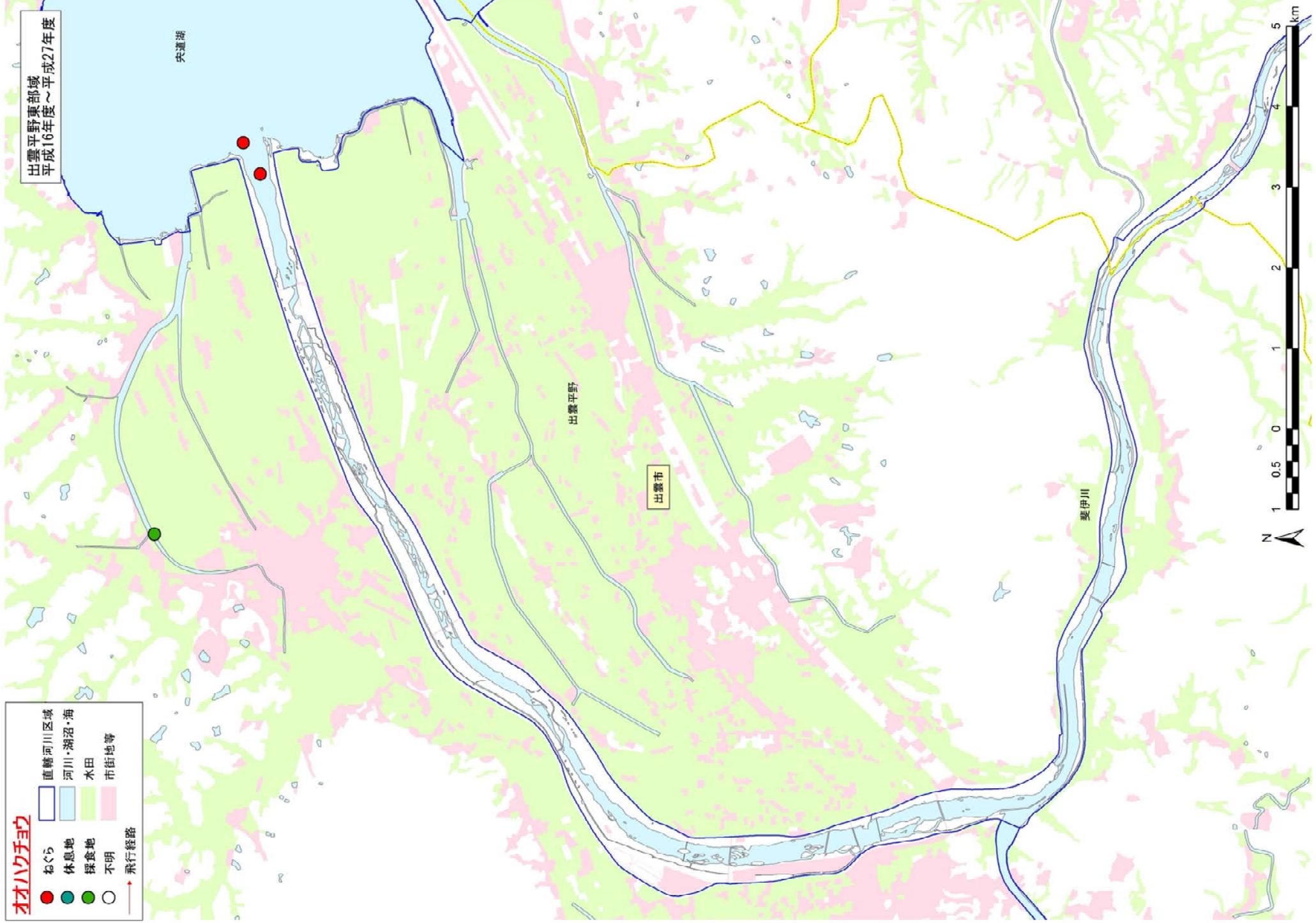
出雲平野東部域
平成16年度～平成27年度

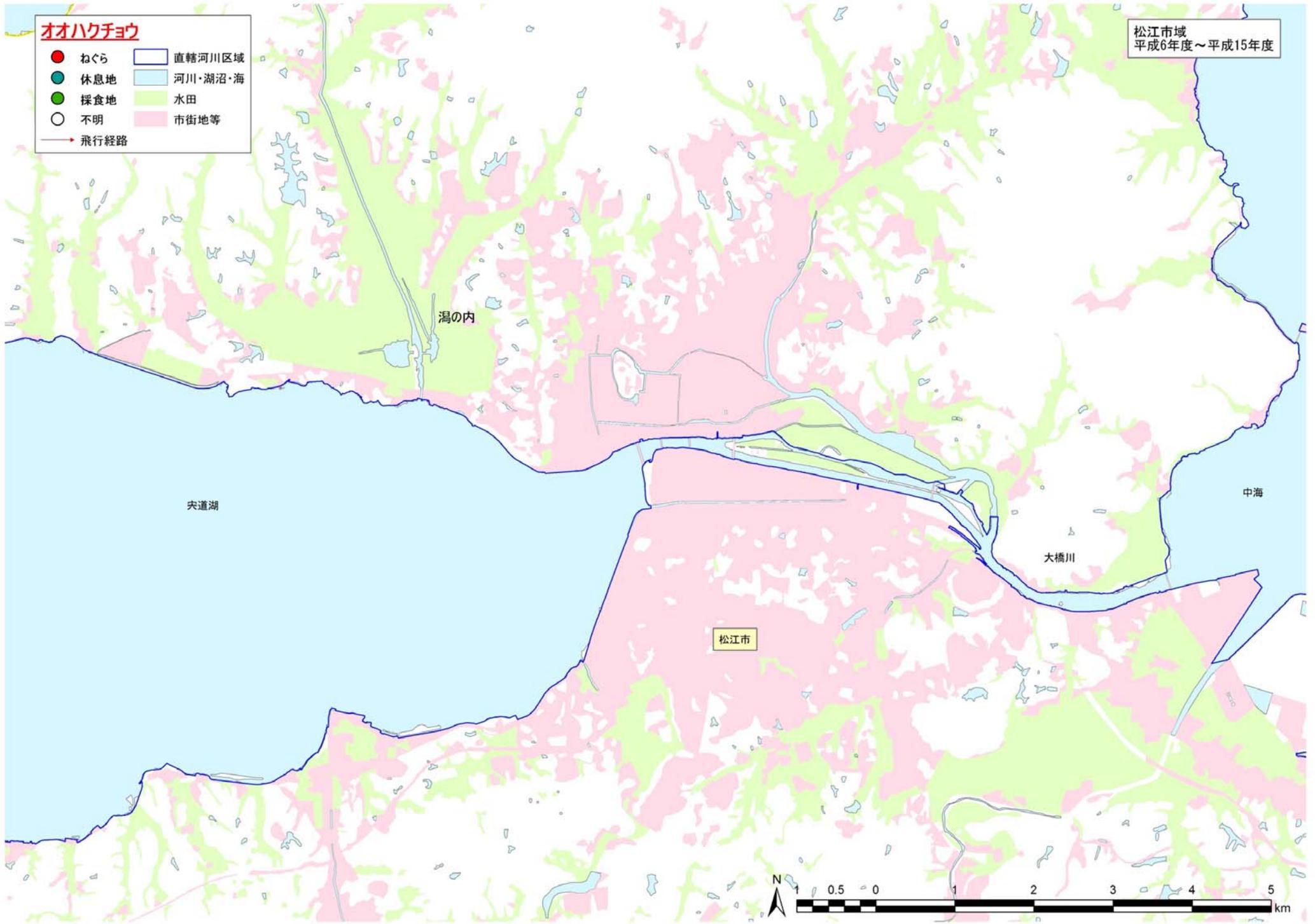
宍道湖

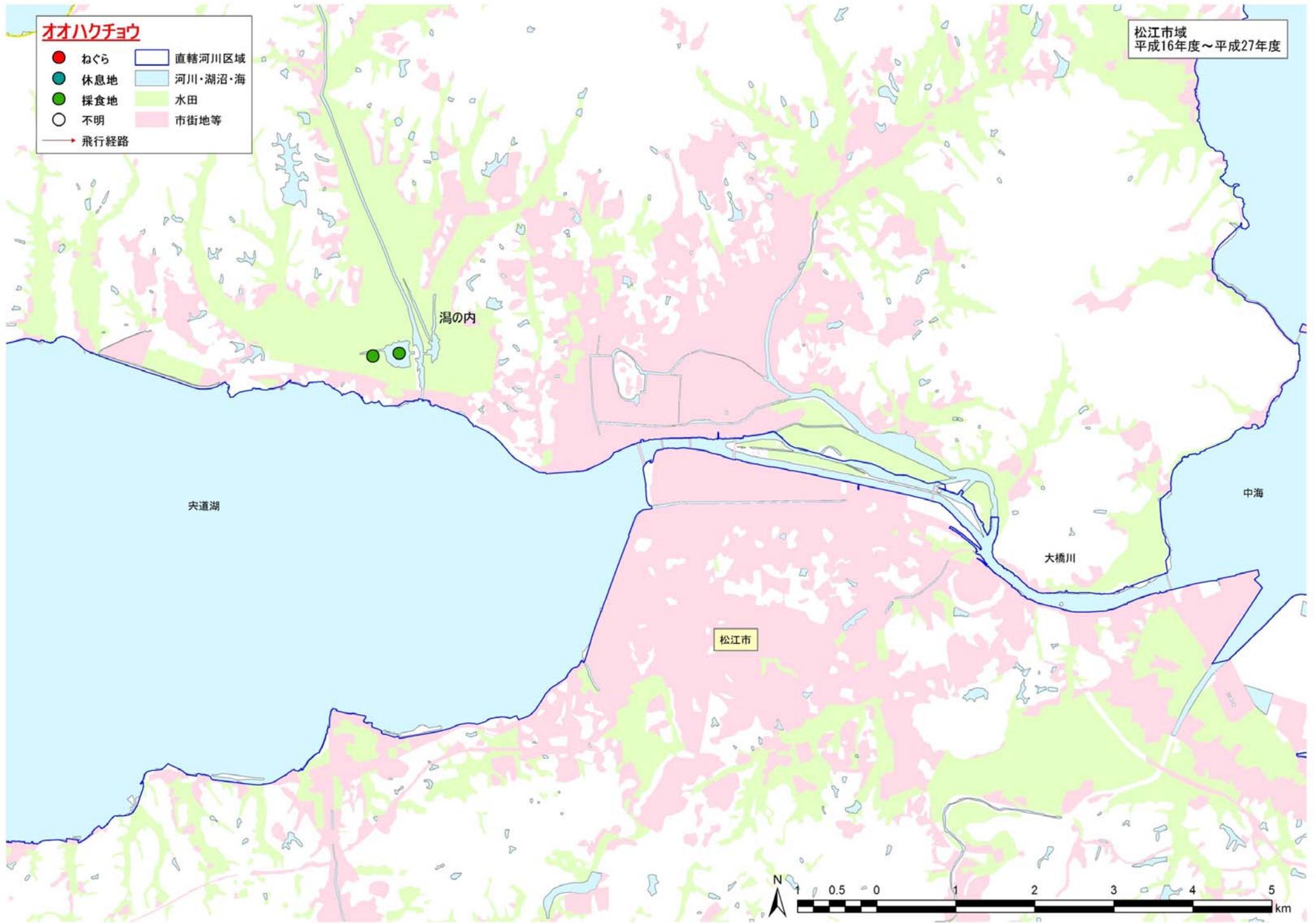
出雲平野

出雲市

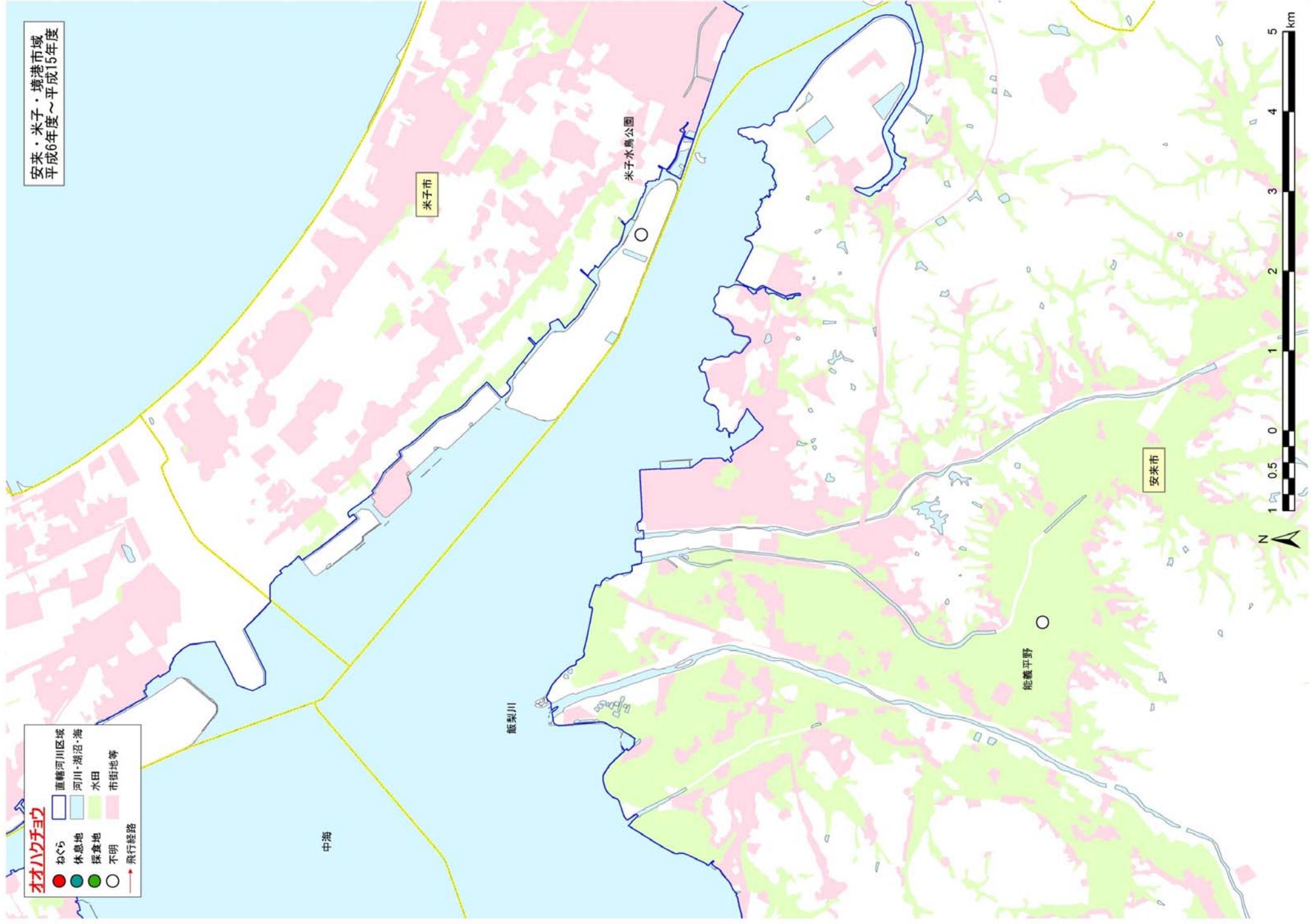
斐伊川







安来・米子・境港市域
平成6年度～平成15年度



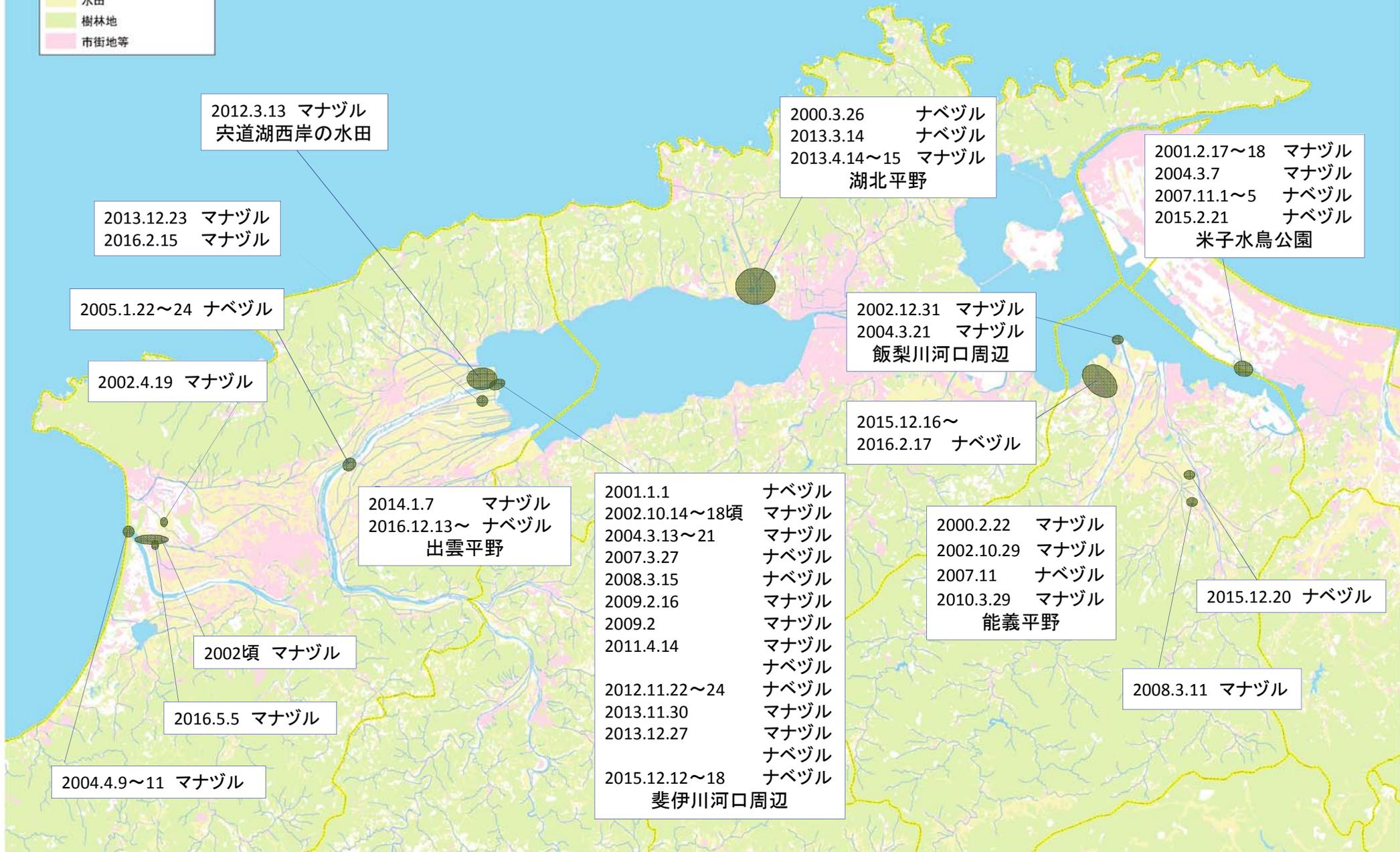
- オオハク子**
- ねくら
 - 休息地
 - 採食地
 - 不明
 - 飛行経路
 - 直轄河川区域
 - 河川・湖沼・海
 - 水田
 - 市街地等

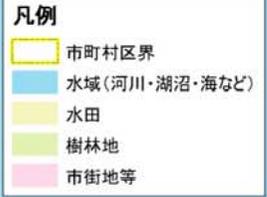
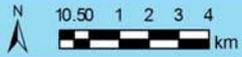
安来・米子・境港市域
平成16年度～平成27年度



- オオハクチョウ**
- ● ● ○ →
 - ねくら
 - 休息地
 - 採食地
 - 不明
 - 飛行経路
 - 直轄河川区域
 - 河川・湖沼・海
 - 水田
 - 市街地等

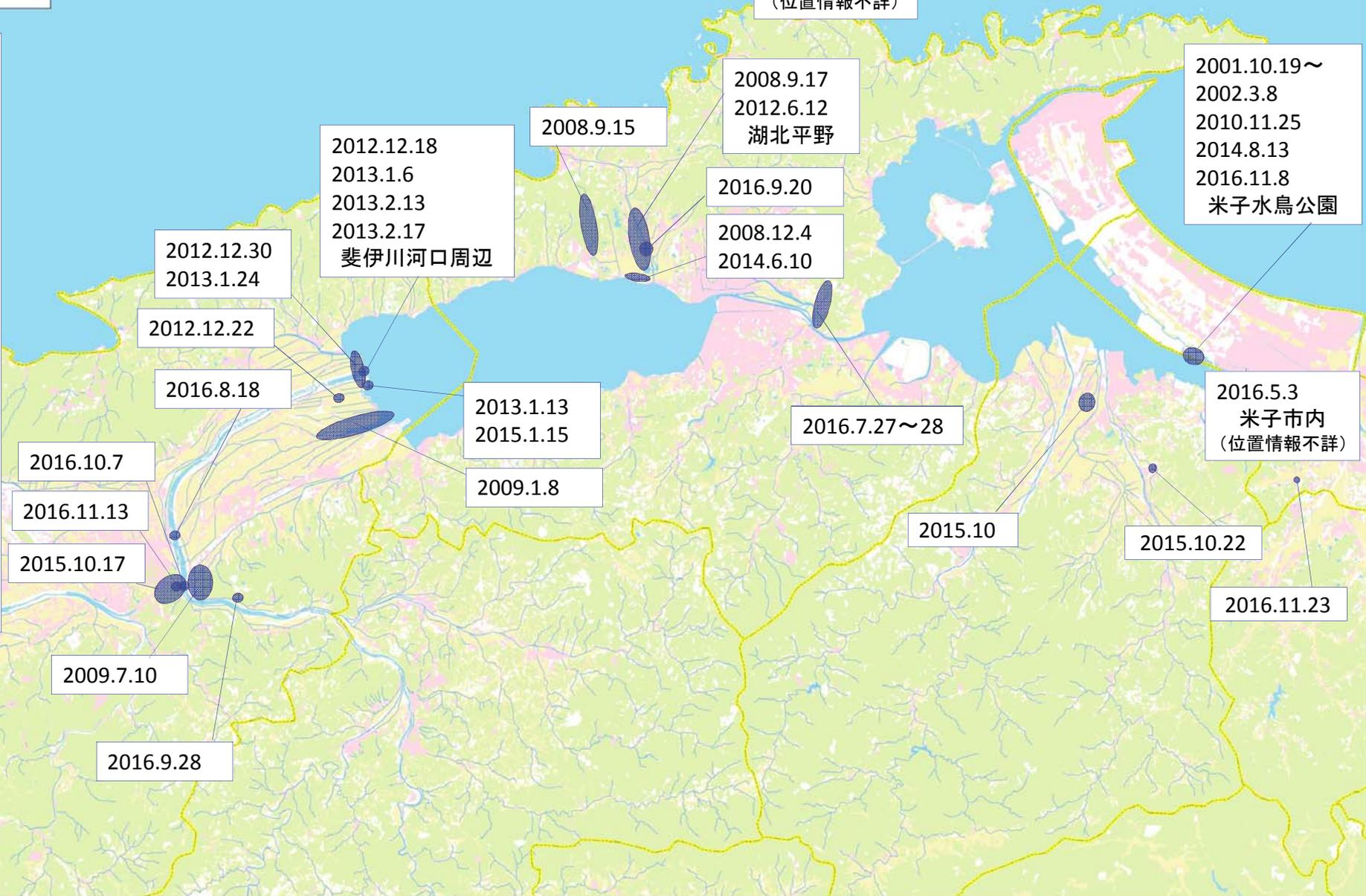
マナヅル・ナベヅルの確認状況(2000年～2016年現在)





コウノトリの確認状況(2000年～2016年現在)

- 2009.1.7
- 2009.3.8
- 2009.6～7
- 2009.7.4
- 2010.6.6～7
- 2011.6.8
- 2011.6.11～13
- 2011.7.9
- 2012.10.22
- 2012.12.2
- 2014.8.2
- 2015.8.26
- 2015.11.12
- 2016.3.14
- 2016.7.28～29
- 2016.8.23
- 2016.10.16
- 2016.10.22
- 2015.10.17
- 出雲市内
(位置情報不詳)



斐伊川流域(斐伊川・宍道湖・中海)におけるガン・ハクチョウ類の既存調査資料一覧 (*は出雲河川事務所委託調査)

No.	業務報告書名 調査報告書・論文名	発行年月	調査機関 調査者名	調査内容 現地調査 期間・日数	調査内容												備考
					現地調査地域						現地調査対象						
					斐伊川		宍道湖		中海		ハクチョウ類			ガン類			
堤外	堤内	堤外	堤内	堤外	堤内	鴨	探食地	休息地	鴨	探食地	休息地						
1	昭和45年度～平成26年度 ガンカモ類の生息調査結果	毎年	環境省・鳥根県・鳥取県	1970年～2015年	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	調査地点ごとの種別個体数の全国一斉調査 採食地/休息地/鴨等の記載なし
2	雁を保護する会 ガン類飛来地目録 第1版	平成6年4月 (1994年)	宮林 泰彦編		○	○	○	○	○	○				●	●	●	全国渡来地の中で、中海(米子水鳥公園)と宍道湖(斐伊川河口)が記載
3	生息計画研究所年報No.2 中海・能義平野におけるコハクチョウの飛行経路と採餌分布	平成6年11月 (1994年)	竹市幸恵・有田一郎	1992年11月～93年3月 計6日間					○	○	●	●					中海(米子水鳥公園)と能義平野のコハクチョウの移動実態と採食地を記載
4	平成6年度 斐伊川水系鳥類調査業務 (河川水辺の国勢調査)報告書	* 平成7年3月 (1995年)	(株)竹下技術コンサルタント	1994年12月10日～11日 計2日間	○		○		○		●			●			河川水辺の国勢調査
5	ホシザキグリーン財団研究報告 第2号 「中海・宍道湖周辺で行ったマガンの日没前後の観察結果」	平成10年10月 (1998年)	神谷 要、土居 克夫	1997年11月～98年2月			○		○	○				●			マガンの米子水鳥公園、能義平野、宍道湖、出雲平野の移動状況を解明
6	平成11年度 斐伊川水系鳥類調査業務 (斐伊川鳥類(特定種)実態調査)報告書	* 平成12年3月 (2000年)	(株)竹下技術コンサルタント	1999年11月～00年3月 計16日間	○						●				●		特定種(ハクチョウ類、マガン、ヒシクイ)が対象
7	ホシザキグリーン財団研究報告 第4号 「宍道湖においてネグラーをとるマガンの調査報告」	平成12年12月 (2000年)	神谷 要、森 茂晃	2000年1月5日～10日 計6日間	○	○	○	○	○	○				●	●		マガンの中海(米子水鳥公園)から斐伊川(西代橋)までの40kmにおよぶ 生息状況を把握
8	ホシザキグリーン財団研究報告 第5号 「宍道湖・中海におけるマガンAnser albifronsのねぐらの夜間観察」	平成13年12月 (2001年)	神谷 要、森 茂晃	2001年1月4日、2月10日 計2日間			○		○					●			マガンの中海(米子水鳥公園)から宍道湖湖心、斐伊川中流の鴨の確認状況 等を把握
9	平成13年度 鳥類観察記録整理作業 報告書	* 平成14年2月 (2002年)	(株)竹下技術コンサルタント	2001年11月～02年1月 計9日間	○						●			●			斐伊川河口から熊谷大橋(29.3km) までの日の出から3時間ほどの行動を追跡
	マガン餌場調査	* 同上	同上	2001年9月～02年3月 計15日間		○									●		宍道湖西岸堤内(水田地帯)での 日の出から3時間ほどの行動を追跡
10	平成13年度 斐伊川周辺飛来数資料作成作業 報告書	* 平成14年2月 (2002年)	(株)竹下技術コンサルタント	2002年2月17日～26日 計4日間	○	○					●	●	●				斐伊川河口から熊谷大橋(29.3km) までの日の出から日没の行動を追跡
	平成13年度 宍道湖周辺飛来数資料作成作業 報告書	* 同上	同上	同上			○	○		○	●	●	●				宍道湖北岸(湯の内)の日の出から日没 の行動を追跡
	平成13年度 斐伊川周辺飛来数資料作成作業 宍道湖周辺飛来数資料作成作業 報告書	* 同上	同上	同上	○	○	○	○		○	●	●	●				上記2つの調査資料の合本報告書 内容は上記報告書と同じ
	平成13年度 冬鳥資料作成作業 報告書	* 同上	同上	同上	○	○	○	○	○	○	●	●	●				ディスク化資料
11	米子水鳥公園事業報告書	平成14年より毎年 (2002年)	中海水鳥国際交流基金財団	1995年～2016年					○								米子水鳥公園における個体数調査 (現地調査に採食地/休息地/鴨等の記載なし)
12	斐伊川水系におけるマガン・ヒシクイの生息環境の日周行動の比較	平成14年 (2002年)	森 茂晃・神谷 要	2001年10月～02年3月 計6日間	○	○	○	○	○	○				●	●	●	越冬期間を通じたガン類の季節的な生息状況の変動等を把握
13	平成14年度 冬鳥飛来状況観察 報告書	* 平成15年3月 (2003年)	(株)竹下技術コンサルタント	2003年1月～3月 計6日間	○	○	○	○			●	●	●	●	●	●	10地点で日の出から3時間程を追跡 図面データなし
	平成14年度 ハクチョウ日周行動記録報告書	* 同上	同上	2003年1月12日 計1日間	○	○	○	○	○	○	●	●	●				コハクチョウを対象に、13地点で日の出から 日没までの動きを追跡(越冬中期)
	平成14年度 ガンカモ冬期行動観察	* 同上	同上	2003年2月22日 計1日間	○	○	○	○	○	○	●	●	●				コハクチョウを対象に、13地点で日の出から 日没までの動きを追跡(越冬後期)
	平成14年度 斐伊川・宍道湖西岸鳥類調査総括資料 作成業務報告書	同上	同上	1997年12月～2002年3月 5越冬シーズンまとめ	○	○	○	○			●	●	●	●	●	●	1997年～2002年の5越冬シーズンにおける 鴨・餌場・休息地の総括あり
14	平成16年度 斐伊川水系鳥類調査業務 集団分布地調査(St.9ガン類調査)	* 平成17年3月 (2005年)	(株)竹下技術コンサルタント	2004年11月～05年3月 計16日間	○	○	○				●	●	●	●	●	●	コハクチョウ、マガン、ヒシクイを対象に、 8地点程で日の出から3時間程を追跡
15	平成16年度 斐伊川水系鳥類調査業務(河川水辺の国勢調査)	* 平成17年3月 (2005年)	(株)竹下技術コンサルタント	2004年12月～05年2月	○		○		○					●			河川水辺の国勢調査 鳥類集団分布地現地調査
16	平成16年度宍道湖中海湖岸水環境整備適合管理業務 報告書	* 平成17年3月 (2005年)	(株)建設技術研究所	2004年12月6日～10日			○		○					●			宍道湖鹿園寺および中海大井地区における湖岸植生整備の事前調査
17	平成20年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業ガンカモ類調査報告書	平成21年3月 (2009年)	環境省自然環境局 生物多様性センター	2005年11月～08年3月 計11日間	○	○	○	○			●			●			全国渡来地調査の一環として、斐伊川と宍道湖がモニタリング対象地として 記載
18	出雲平野に渡来するガン・ハクチョウ類の採食分布の比較	平成21年 (2009年)	森 茂晃・星野 由美子	2005年10月～09年3月 計59日間	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	マガン、ヒシクイ、コハクチョウの採食地の経年的・季節的な推移や変動を 把握
19	平成24年度 斐伊川水辺現地調査(鳥類)業務 報告書	* 平成25年3月 (2013年)	(株)建設環境研究所	2013年1月14日～18日 計5日間	○		○		○		●			●			河川水辺の国勢調査 鳥類集団分布地現地調査
20	斐伊川水系環境モニタリング検討業務	* 平成26年3月 (2014年)	(株)建設環境研究所	2015年2月2日～4日 計3日間													当年度に加え、2000、2002、2008年度の神戸川における調査結果を整理 (現地調査に採食地/休息地/鴨等の記載なし)
21	平成26年度 国指定宍道湖鳥獣保護区更新に伴う鳥類調査業務 報告書	平成27年3月 (2015年)	中国四国地方環境事務所														現地調査に採食地/休息地/鴨等の記載なし 既存文献調査のみ参考
22	斐伊川水系生態系ネットワーク構想検討外業務 報告書	* 平成27年3月 (2015年)	(公財)日本生態系協会	2014年12月21日～23日 2015年1月22日～24日 計6日間	○	○	○				●	●	●	●	●	●	マガン、ヒシクイ、コハクチョウを対象に、 日の出から日没までの行動を追跡
23	斐伊川水系生態系ネットワーク調査検討業務 報告書	* 平成28年3月 (2016年)	(公財)日本生態系協会	2016年1月10日～12日 2016年2月15日～17日 計6日間	○	○	○		○	○	●	●	●	●	●	●	マガン、ヒシクイ、コハクチョウを対象に、 日の出から日没までの行動を追跡
24	中海宍道湖浅場モニタリング業務 報告書	* 平成28年3月 (2016年)	(株)ウエスコ	2015年9月16日～20日 2016年1月20日～2月29日 計10日間			○		○					●			宍道湖鹿園寺地区、宍道地区、浜佐田地区、中海大崎地区、大井地区に おける湖岸植生整備前後の鳥類利用状況調査

斐伊川流域生態系ネットワークにおける「大型水鳥類」を指標とした生息環境整備の概要



◆『希少大型水鳥類』に対する社会的な要請・背景(保護上の指針)

I. ツル類

「ナベヅル・マナヅルの新越冬地形成等に関する基本的考え方(案)」(平成26年3月 環境省)
・出水(鹿児島県)の越冬集中化に伴う感染症発生等による絶滅リスクを回避するため、出水以外の国内複数越冬箇所において長期安定的な越冬地を形成し、国内でのツル類の健全な個体群の維持を図ること、の最終目標が設定・提示される。

II. コウノトリ

「コウノトリ野生復帰ランドデザイン」(平成23年8月 兵庫県)
・中期目標に「国内のメタ個体群構造の構築」を設定し、(兵庫)県外に繁殖個体群が一つ以上確立されること、が当面の広域目標として掲げられる。

III. トキ

「トキ野生復帰ロードマップ」(平成25年2月 環境省)
・佐渡島での野生復帰目標の平成27年達成を踏まえ、平成28年に策定予定の次期ロードマップにおいて、佐渡島以外の国内他地域での野生復帰方針を定めること、が公表される。

◆斐伊川流域生態系ネットワーク形成における生息環境整備のキーワード

- 『生息環境整備』・・・指標鳥類の持続的・安定的な生息のために必要となる「採食地」「囀」「休息・中継地」「営巣地」等の各機能を確保するために行う様々な取組み。
- 『現況保全エリア』・・・指標鳥類の持続的・安定的な生息のための「採食地」「囀」「休息・中継地」等の条件が既に一定程度整っており、その状況の維持を優先するための取組が求められるエリア。
- 『整備適性エリア』・・・指標鳥類の生態的な特性や飛来地域の環境条件等から、「採食地」「囀」「休息・中継地」等の各機能にふさわしい生息環境を新たに再生・創出・管理することで、より持続的・安定的な生息が推定されるエリア。
- 『自然的条件の整備』・・・指標鳥類の持続的・安定的な生息のために必要な河川、湿地、池沼、水田等の水辺環境そのものを対象に、保全・再生・創出・管理を行う取組み。
- 『社会的条件の整備』・・・指標鳥類の持続的・安定的な生息のために必要となる主要生息地の維持担保に影響を与える開発・農地整備・農業形態・狩猟・経済行為等の様々な人間活動との係わりの調整を図る取組み。
- 『堤外地対応』・・・河川法に基づく河川区域内を対象に、河川管理者が主体となって実施する事業や行為。
- 『堤内地対応』・・・河川区域外の地域で、国・自治体等の行政機関、NPO・地域団体・企業等が主として取組む事業や活動。

斐伊川 水系生態系ネットワーク形成事業

指標となる『大型水鳥類』に関する生息環境の保全・整備方針

斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会
生息環境づくり部会

1. 「斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会」規約第2条二項に示された“大型水鳥類の定着と安定的な生息環境の創出”の実現を図るための効果的方策の検討を行う。指標となる『大型水鳥類』としては、斐伊川水系はハクチョウ類・ガン類・ツル類・コウノトリ・トキの5種群のすべてが安定的に生息可能な潜在性を有する全国唯一の流域とされていることなどから、これらの水鳥を主な対象とした生息環境づくりを進める。
2. 斐伊川水系における『指標大型水鳥類』の生息状況は、ハクチョウ・ガン類【現況安定生息種】、ツル類・コウノトリ【現況散発飛来種】、トキ【現況飼育・将来野生復帰想定種】に3区分されることから、この現状を踏まえた段階的・現実的な取組み（STEP1.～3.）の中で、受け皿となる生息環境の保全・整備の推進を図る。なお、現況安定生息種以外の希少大型水鳥類については、保護方策に関する全国レベルの社会的な要請や枠組み・指針等が示されていることから、これに準拠した枠組みとして進める。
3. 『指標大型水鳥類』の生息に適した水辺環境等の保全・整備に当たっては、対象種ごとの既存調査結果や知見等に基づき、既に重要な生息拠点となっている「現況保全エリア」と潜在的な生息地としてふさわしい「整備適性エリア」の適地選定を行い、エリアごとに持続的・安定的な生息のために必要となる「採食地」「埒」「休息・中継地」等の自然のおよび社会的な条件確保に向けた検討を行う。水鳥類の生息環境の保全・整備の進展に際しては、鳥害への懸念や鳥インフルエンザ等への課題があげられるが、これらのリスクへの適切かつ効果的対応のあり方についても、併せて検討していくものとする。
4. 「現況保全エリア」と「整備適性エリア」の選定と、その後の保全・整備の推進に当たっては、『指標大型水鳥類』の生態的特性や移動能力の大きさ等を踏まえた生息拠点の配置と、ネットワーク（つながりや広がり）の展開に十分留意するものとする。また、各エリアの保全・整備のための事業実施や関連活動を担う主体としては、堤外地は主に河川管理者（出雲河川事務所、県河川部局）が、堤内地は自治体（県・市）や民間団体・関連機関・企業等が担当することを想定し、連携の構築による一体的な推進を図る。
5. 「現況保全エリア」と「整備適性エリア」における生息環境整備は、エリアごとの保全・整備内容の検討状況に応じて、事業・活動の実施主体が明確となったエリア内の必要事業から、逐次着手するものとする。事業展開の概ねの目途としては、生物多様性の顕著な改善が国際的に求められている、「愛知目標」達成年である2020年を当面の短期目標期間として、STEP1. 現況安定生息種（ハクチョウ類・ガン類）の生息状況の維持・改善、STEP2. 現況散発飛来種（ツル類・コウノトリ）の飛来数・頻度の増加と滞在期間の長期化を目指すものとする。2020年以降は、それまでの生息環境整備の進捗や事業評価の検証等に基づき、ツル類・コウノトリの定着と地域個体群の形成や、STEP3. 将来野生復帰想定種（トキ）の野外生息に漸次、取り組んでいく。